

共同生活援助事業所における入居者の
結婚等に係る実態調査
結果報告書

令和5年（2023年）6月

北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課

調査概要	2
------	---

調査結果

1 利用者（家族）	3～13
2 管理者	14～36
3 参考（利用者のその他のご意見）	37～48

共同生活援助事業所における 入居者の結婚等に係る実態調査概要

1 調査の概要

(1) 目的

共同生活援助事業所における入居者等の結婚等について、入居者の想いや考え、事業所側が感じている支援上の課題を把握・分析し、対応策を検討することを目的に実施。

(2) 調査対象

道が所管する全ての共同生活援助事業所（グループホーム）の利用者ご本人、管理者

(3) 調査方法

① ご本人

各事業所宛てに、回答に協力いただく利用者数の調査を事前に行い、当該調査に回答があった分のアンケート用紙について、障がい者保健福祉課から発送し、各事業所は当該アンケート用紙を利用者ご本人に配布し、回答後、返送。

② 管理者

各総合振興局（振興局）を經由し、各事業所にアンケート調査の回答依頼を通知。管理者は、パソコンやスマートフォンを用いて北海道電子自治体共同システムへアクセスしてインターネットにより回答。

(4) 調査期間

① ご本人 令和5年2月28日（火）～4月30日（日）

② 管理者 令和5年1月30日（月）～2月28日（火）

(5) 対象者及び回答数

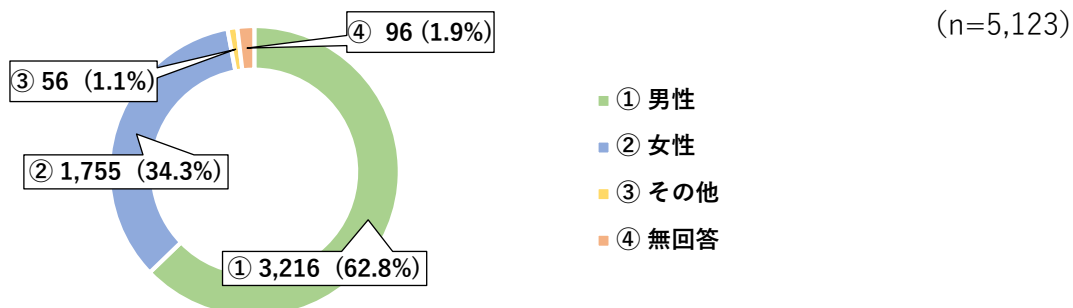
対象事業所数	対象者数 (A)		有効回答数 (B)	回収率 (B/A)
399 共同生活援助 事業所	ご本人	8,741人	5,123人	58.6%
	管理者	399人	274人	68.7%
	計	9,140人	5,397人	59.0%

2 調査結果（ご本人あて調査）

（1）ご本人の性別・年齢

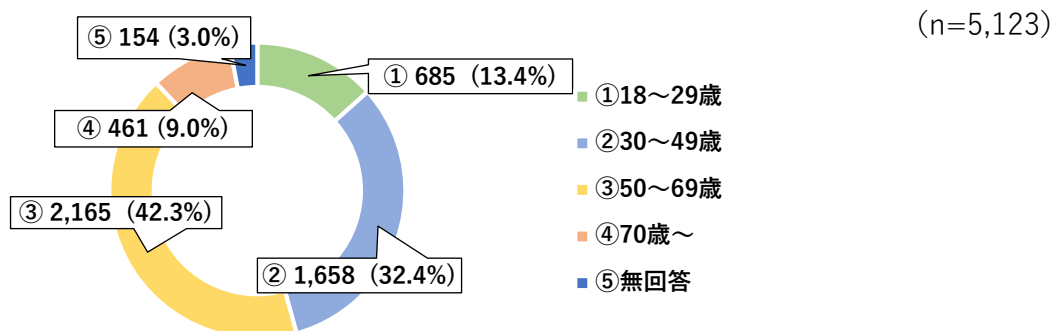
問1 性別

* 利用者本人の性別は、「①男性」が62.8%となっており、「②女性」は34.3%となっています。



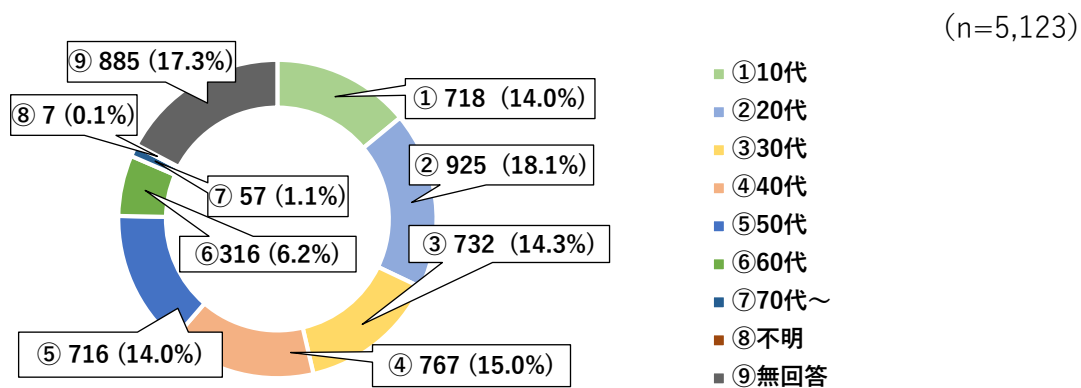
問2 年齢

* 入所者本人の年齢は、「③50～69歳」が42.3%と最も多く、次いで「②30～49歳」が32.4%、「③18～29歳」が13.4%となっています。



問3 最初にグループホームに入った年齢

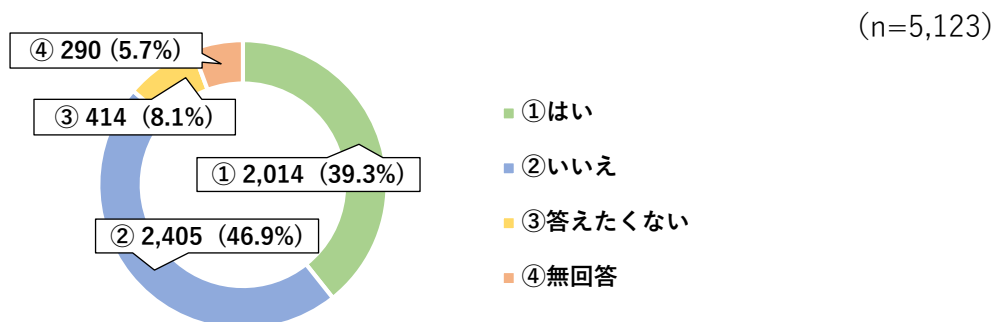
* 最初にグループホームに入った年齢は、「②20代」が18.1%と最も多く、次いで「④40代」が15.0%、「③30代」が14.3%となっています。



(2) 交際に関する相談状況

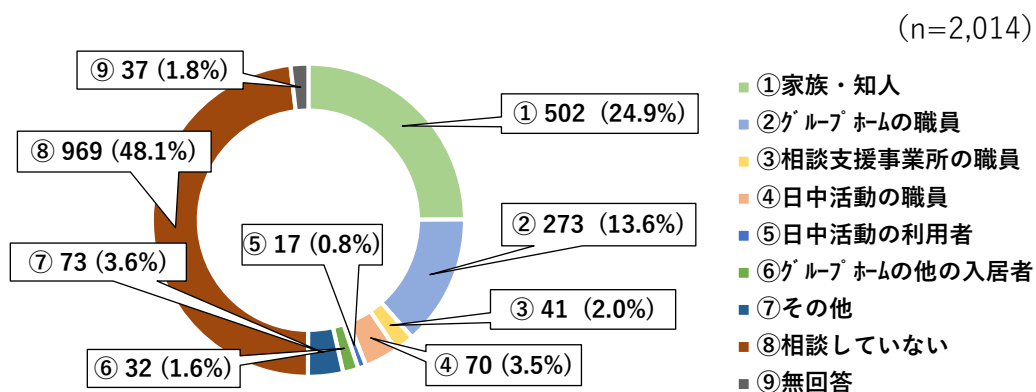
問4-1 これまでに交際したいと思ったことの有無

* これまでに交際したいと思ったことがあるかについては、「①はい」が39.3%、「②いいえ」が46.9%となっています。



問4-2 交際したいと思ったときの相談先

* 交際したいと思ったときの主な相談先については、「⑧相談していない」が48.1%と最も多く、次いで「①家族・知人」が24.9%、「②グループホーム職員」が13.6%となっています。



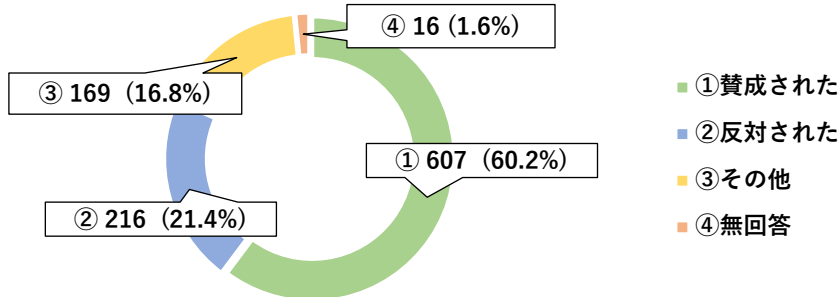
< 「その他」の主なもの >

学校の先生
主治医や看護師
その他の障害福祉サービス事業所職員
同僚
相手の家族

問4-3 交際について相談した相手からの賛否

* 交際について相談した相手からの賛否については、「①賛成された」が60.2%、「②反対された」が21.4%となっています。

(n=1,008)



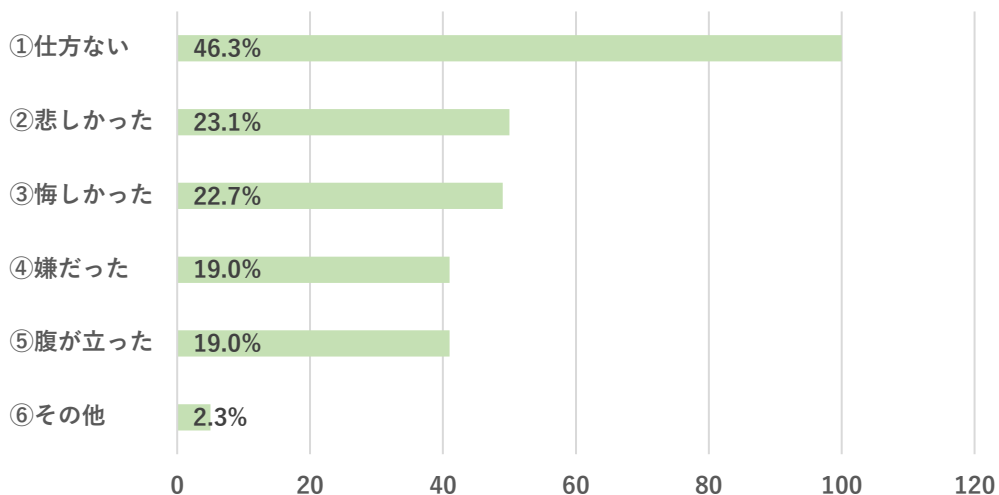
< 「その他」の主なもの >

賛成も反対もされなかった、何とも言われなかった
心配された
賛否が分かれた
アドバイスをされた

問4-4 交際について反対されたときの気持ち（複数回答あり）

* 交際について相談した相手から反対されたときの気持ちについては、「①仕方ない」が46.3%と最も多く、次いで「②悲しかった」が23.1%、「③悔しかった」が22.7%となっています。

(n=216)



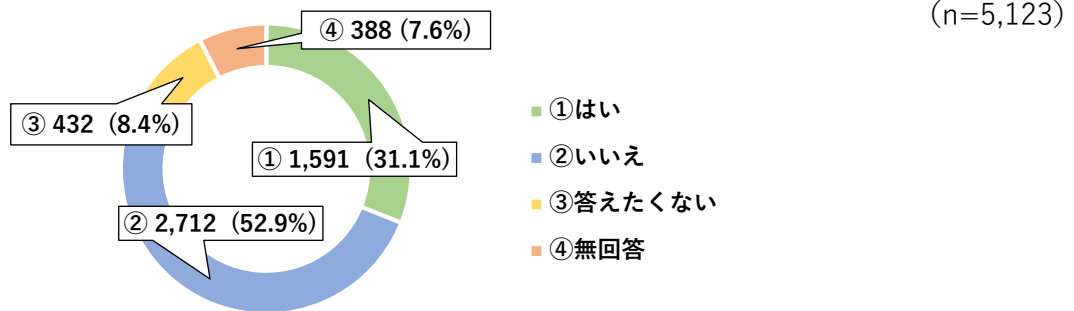
< 「その他」の主なもの >

自分には愛する資格がないのだと思った
それでもいいと思った
普通の人として見てほしかった

(3) 結婚や同居に関する相談状況

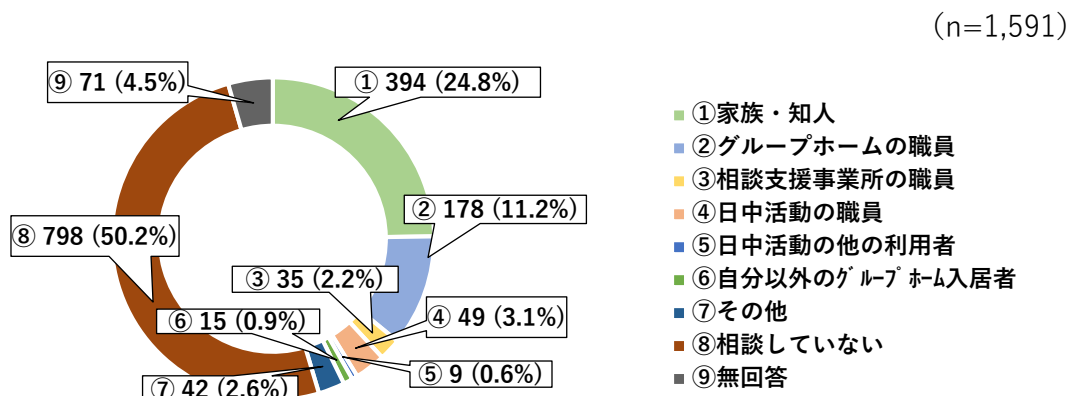
問5-1 これまでに結婚や同居したいと思ったことの有無

* これまでに結婚や同居したいと思ったことがあるかについては、「①はい」が31.1%、「②いいえ」が52.9%となっています。



問5-2 結婚や同居したいと思ったときの相談先

* 結婚や同居したいと思ったときの主な相談先については、「⑧相談していない」が50.3%と最も多く、次いで「①家族・知人」が24.8%、「②グループホーム職員」が11.2%となっています。



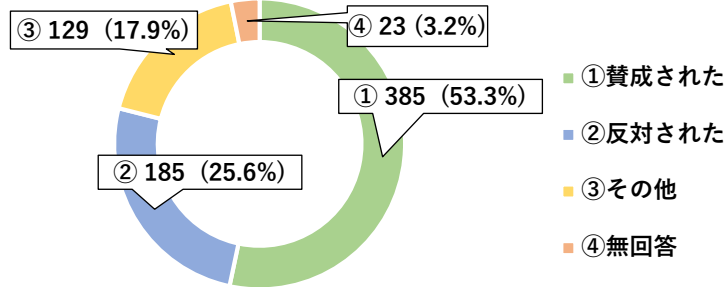
< 「その他」の主なもの >

交際相手
主治医や看護師
その他の障害福祉サービス事業所職員
同僚
相手の家族
ケースワーカー

問5-3 結婚や同居について相談した相手からの賛否

* 結婚や同居について相談した相手からの賛否については、「①賛成された」が53.3%、「②反対された」が25.6%となっています。

(n=722)



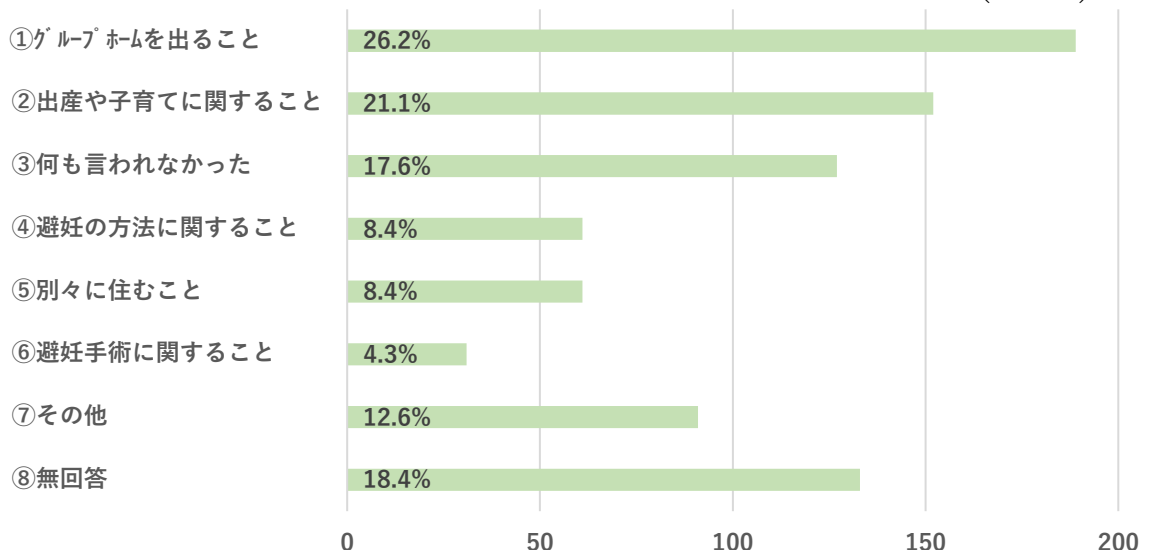
< 「その他」の主なもの >

賛成も反対もされなかった、何とも言われなかった、曖昧な反応だった
将来的には賛成だがまだ早いと言われた（病状面や経済的な理由など）
家族内で賛否が分かれた

問5-4 結婚や同居について相談した際にあった話（複数回答あり）

* 結婚や同居について相談した相手からされた話については、「①グループホームを出ること」が26.2%と最も多く、次いで「②出産や子育てに関すること」が21.1%、「③何も言われなかった」が17.6%となっています。

(n=722)

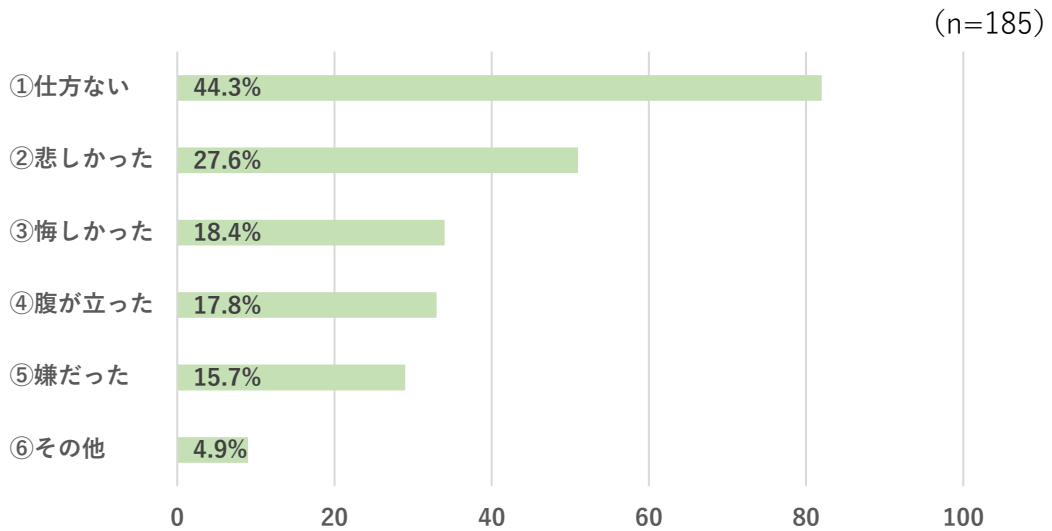


< 「その他」の主なもの >

家事や身の回りのこと
仕事、経済面のこと
住居のこと、同居すること

問5-5 結婚や同居について反対されたときの気持ち（複数回答あり）

* 結婚や同居について相談した相手からの賛否については、「①仕方ない」が44.3%と最も多く、次いで「②悲しかった」が27.6%、「③悔しかった」が18.4%となっています。



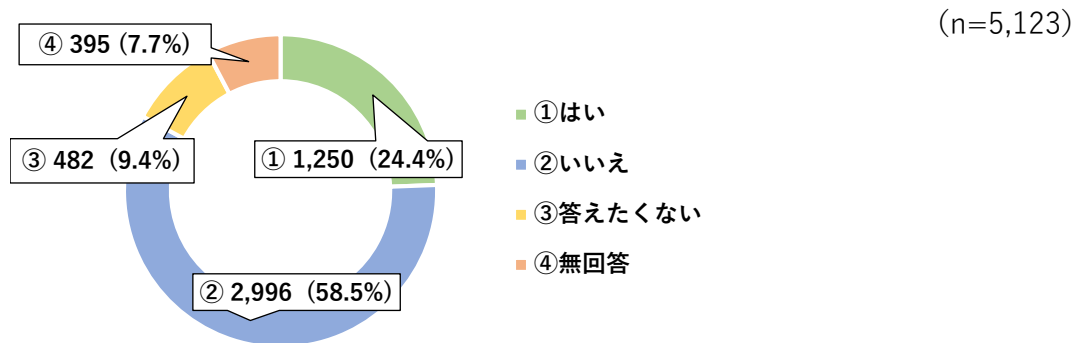
< 「その他」の主なもの >

それでも良いと思った
もっとちゃんと向き合ってほしかった
さみしかった
今となっては良かったと思う

(4) 出産や子育てに関する相談状況

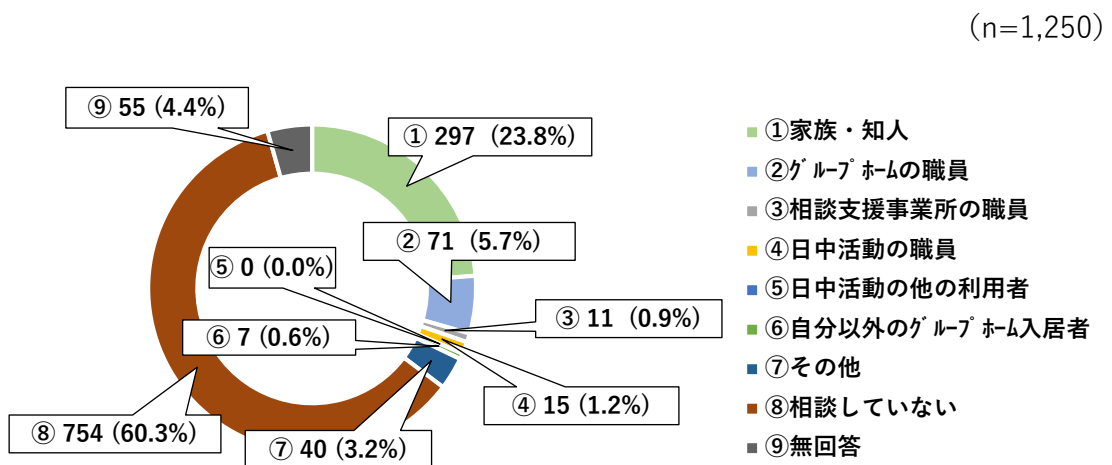
問6-1 これまでに子どもがほしいと思ったことの有無

* これまでに子どもがほしいと思ったことがあるかについては、「①はい」が24.4%、「②いいえ」が58.5%となっています。



問6-2 子どもがほしいと思ったときの相談先

* 子どもがほしいと思ったときの主な相談先については、「⑧相談していない」が60.3%と最も多く、次いで「①家族・知人」が23.8%、「②グループホーム職員」が5.7%となっています。

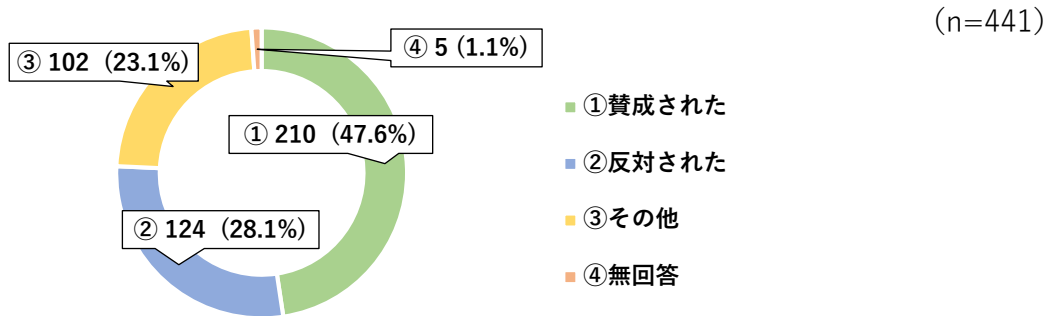


< 「その他」の主なもの >

相手
主治医

問6-3 子どもがほしいことについて相談した相手からの賛否

* 子どもがほしいことについて相談した相手からの賛否については、「①賛成された」が47.6%、「②反対された」が28.1%となっています。

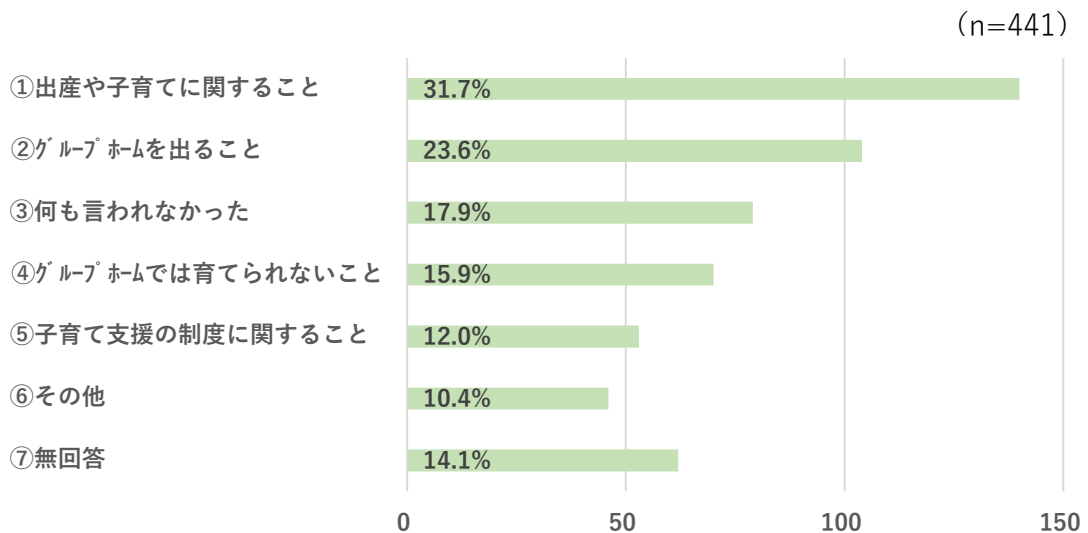


< 「その他」の主なもの >

賛成も反対もされなかった、何とも言われなかった
病状から難しいのではないかと言われた
まだ早いのではないかと言われた

問6-4 子どもがほしいことについて相談した際にあった話（複数回答あり）

* 子どもがほしいことについて相談した相手からされた話については、「①出産や子育てに関すること」が31.7%と最も多く、次いで「②グループホームを出ること」が23.6%、「③何も言われなかった」が17.9%となっています。

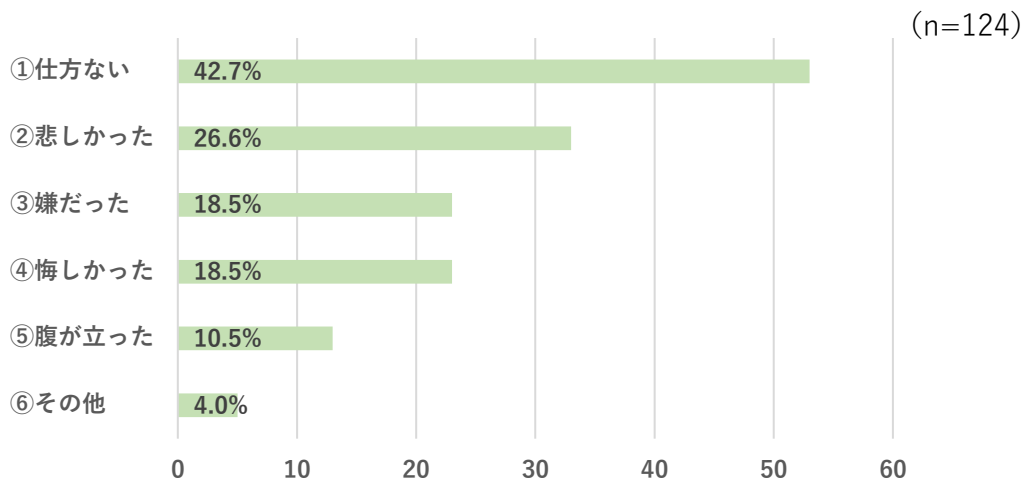


< 「その他」の主なもの >

服薬中の薬の胎児への影響について
経済面のこと
覚えていない

問6-5 子どもがほしいことについて反対されたときの気持ち（複数回答あり）

* 子どもがほしいことについて相談した相手からの賛否については、「①仕方ない」が42.7%と最も多く、次いで「②悲しかった」が26.6%、「③嫌だった」及び「④悔しかった」が18.5%となっています。



< 「その他」の主なもの >

反対する理由を明確にしてほしかった
育てられないと決めつけられている感じがした
さみしかった
なさけない気持ち

(5) その他（ご本人の想いや考えを自由に記載）

問7 その他（自由記載）

- * その他の記載（全753件）のうちの主なもの（15件）を抜粋して掲載。
- * 巻末に全ての意見を掲載しています。

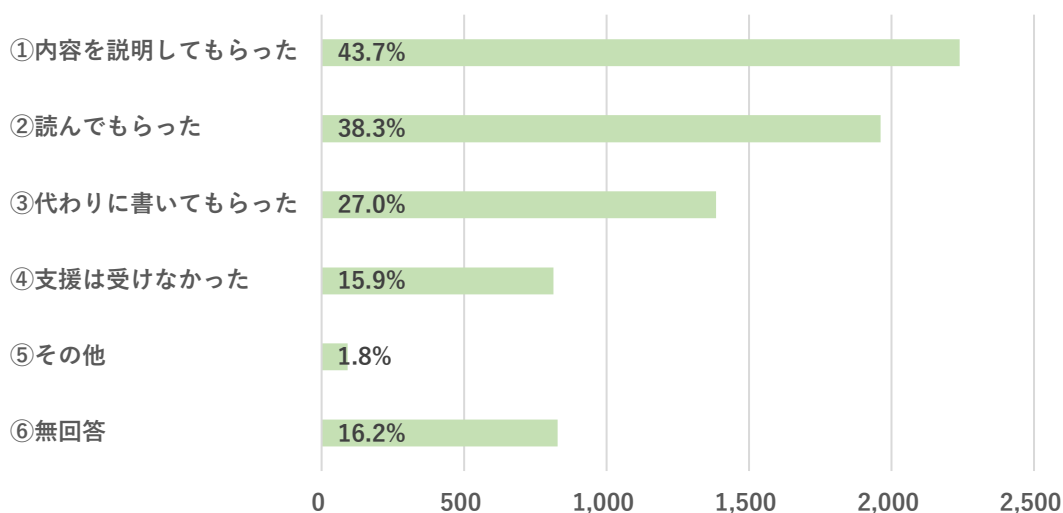
性別	年齢	内容
男性	18～29 歳	結婚したとしてその後子供が出来て子育て仕事を両立できるのか？性教育をしっかりしたほうが良いと思った。離婚せずに無事に子育てを終えられて老後までくらせるのかなど不安がある。収入、生活、子育てについて学んだり、経験者の話を聞ける機会があれば良いと思う。
男性	18～29 歳	子どもが欲しいと思ったことはあるが、子どもができるということは、自分の子孫を残すということで、自分も今まで以上にしっかりしなければいけないという思いがある。そう考えた時に「自分はしっかりしていない=子どもを望んではいけない」と考えている。
女性	18～29 歳	持病があるので子どもができたときに遺伝したらどうしようとしても不安。今までマッチングアプリを使って男性と交流したことがあるが、ほとんどが身体目的だったので男性と交わるのが怖く感じる。好きだった人にひどい言葉をかけられたことがあり今でもふと思い出して辛くなる。
女性	18～29 歳	現在は出産に関しては考えていないが、それは自身の抱える発達障害や精神病があり、故に生じる不調の中で二人の人間を育てるということに、不安がある。私自身が発達障害を持って生まれ、精神病に悩みつつも、生まれてきたことを悔やんだりはしていない。それは、家族や周りの支援に恵まれてきたからだと思う。だから、この先、絶対に子供が欲しくないとかでは無く、子供を育てられる様々なサポートを受け、安心出来るのなら、子供が欲しいと思うかもしれない。
男性	30～49 歳	自分の病気と付き合うだけで精一杯なので、異性と一緒に過ごすことが考えられない。しかし、将来的なことを考えた場合、親、兄弟、身内がいなく、財産や墓など、いわゆる終活をどの時点で行うか等、不安材料が多くある。障がい者が住みよい世の中であってほしい。
男性	30～49 歳	愛している女性がいる、もうかれこれ18年付き合っていて、いつの日にか、二人きりの暮らしか、妹さんもいっしょに暮らしたいと、強く希望している。そのために国からの金銭面の支援をお願いしたい。
女性	30～49 歳	結婚、出産、子育てすべて経験した。小さい子どもを育てる場合は、逆にグループホームを出た方が育てやすいと思う。（他の入居者さんに泣き声で迷惑をかけてしまうため）
女性	30～49 歳	職員さんや家族（特に両親）に本人と向き合って本人の意思も尊重して話をして、本人の言っていることに耳を傾けて欲しい。家族は特に「グループホームに入居しているから安心」と思って本人の言葉に耳を傾けない人も多い。「健常者」とか「障がい者」とか「壁」を作らないで欲しい。
男性	50～69 歳	グループホームの中でも周りの理解があれば、結婚生活をおくることができると思う。その中で他者に自分の好きな人が傷つけられなかとこの心配もあるが、それを事前に防ぐ話し合いを皆でもてば乗り越えていけると思う。自分にとっては一人で暮らしていた時も本当の自立へ向けての支援が困難に思う場合もあったが、確かに感じとられた人間的成長も含め、受け取り方で良いも悪いも決まると思っている。
男性	50～69 歳	結婚はできないと思っていたから誰にも相談していない。他の施設で利用者同士が結婚したのを聞いたことがある。羨ましく思ったことがある。今は結婚したいとは思わない。
女性	50～69 才	自分が子どもを育てられるかどうかすごく心配であった。もう少し若いときに自分のように障がいのある人に子どもを産んでも大丈夫と教えてほしかった。子どもについては障害のあるなしに関係なく大変な問題と思う。
女性	50～69 歳	好きな人がいても、2人を引き裂こうとする人がいたり、意地悪をしたりする人がいる。逆に自分が同じようにされたら、嫌な気持ちになるのに平気でする人がいる。結婚や、付き合う人がたくさん出来ればいけれど、グループホームにしていると、色々難しいと思う。
男性	70 歳～	家族等の子供を見て、欲しいと思ったことは。
男性	70 歳～	したかったけど相手が見つからなかった。
女性	70 歳～	難しいと小さい時から思っていた。

(6) 本アンケートの回答にあたっての支援の状況

問8-1 アンケートの回答にあたって受けた支援（複数回答あり）

* アンケートの回答にあたって受けた支援については、「①内容を説明してもらった」が43.7%と最も多く、次いで「②読んでもらった」が38.3%、「③代わりに書いてもらった」が27.0%となっています。

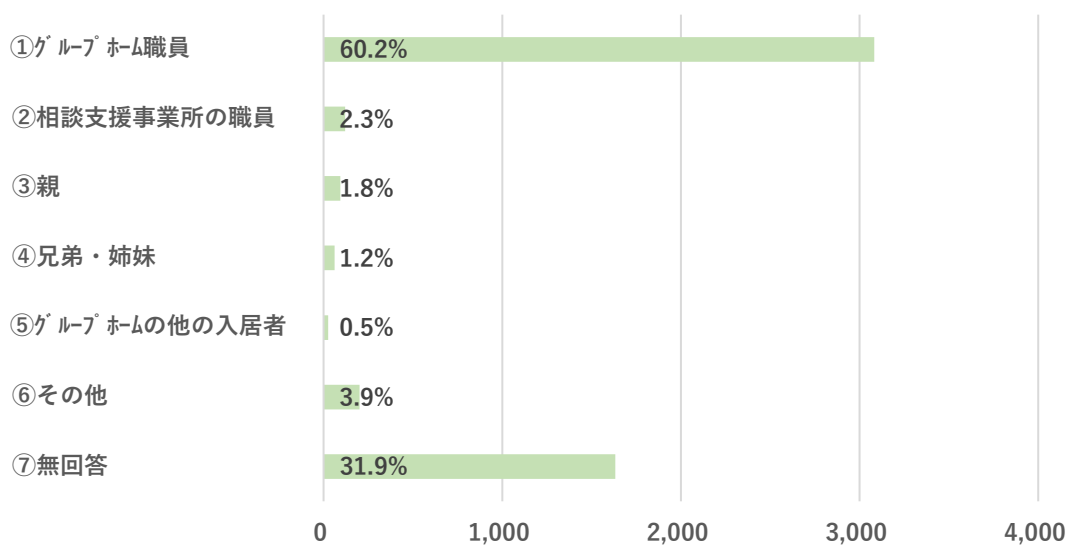
(n=5,123)



問8-2 アンケートの回答にあたって支援を依頼した相手（複数回答あり）

* アンケートの回答にあたって支援を依頼した相手については、「①グループホーム職員」が60.2%と多数を占めています。

(n=5,123)

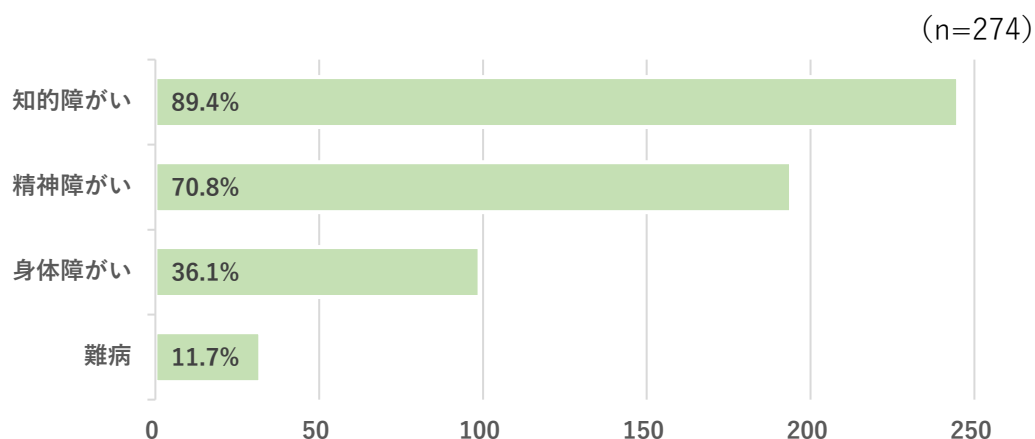


3 調査結果（管理者あて調査）

（1）現在の入居者の障がい種別

問1 現在の入居者の障がい種別（複数回答あり）

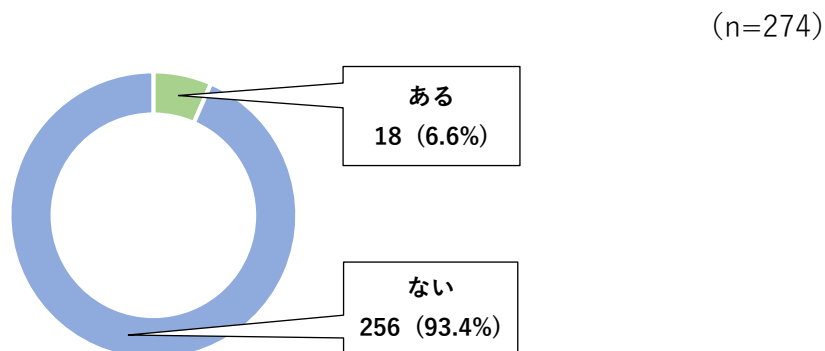
* 現在の入居者の障がい種別は、「知的障がい」が89.4%で最も多く、次いで「精神障がい」が70.8%、「身体障がい」が36.1%となっています。



（2）夫婦又は交際中の二人の入居等の状況

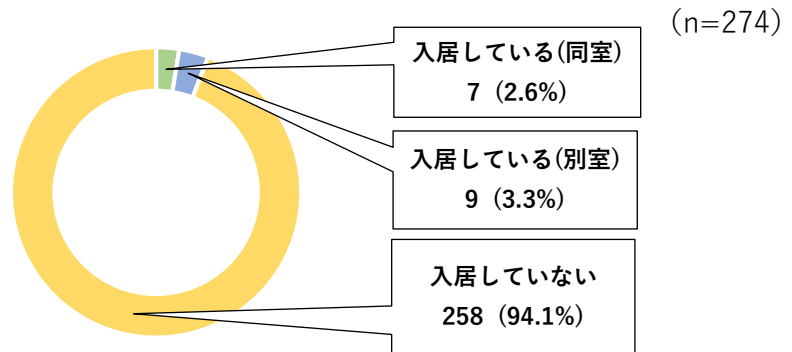
問2(1) 夫婦又は交際中の方が二人で入居することが可能な居室の有無

* 夫婦又は交際中の方が二人で入居することが可能な居室は、「ある」が6.6%、「ない」が93.4%となっています。



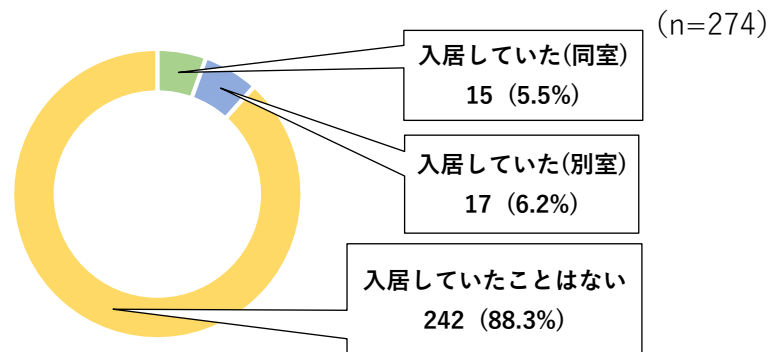
**問2(2) 入居者同士で夫婦又は交際中の二人が同一の住居に入居している状況
(現在)**

* 現在、入居者同士で夫婦又は交際中の二人が、同一の住居に（引き続き）入居している状況は、「ある（同室）」が2.6%、「ある（別室）」が3.3%、「ない」が94.1%となっています。



**問2(3) 入居者同士で夫婦又は交際中の二人が同一の住居に入居していた状況
(過去)**

* 過去に、入居者同士で夫婦又は交際中の二人が、同一の住居に入居していた状況は、「ある（同室）」が5.5%、「ある（別室）」が6.2%、「ない」が88.3%となっています。

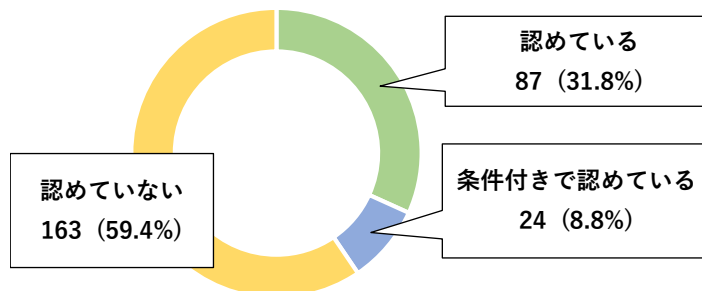


(3) 交際や結婚の希望への対応等

問3(1) 入居者同士が交際や結婚した場合、同一の住居に住むことを認めているか

* 入居者同士が交際や結婚した場合に、同一の住居に住むことを「認めている」が31.8%、「条件付きで認めている」が8.8%、「認めていない」が59.4%となっています。

(n=274)



問3(2)(3) 同一の住居に住む条件とその理由

* 入居者同士が交際や結婚した場合に、同一の住居に住むことを「条件付きで認めている」とした事業所について、条件と理由は次のとおりです（全24事業所）。

- 男女別棟であるため同じ部屋に住まないこと、共同生活の場なので他の入居者に迷惑となる行為をしないことなどを条件としている例が多く見られます。

連番	同一の住居に住むための条件	条件をつける理由
1	互いの部屋に泊まらないこと、時間を守ること、他の入居者に迷惑となる行為をした場合などは退去してもらうこと。	施設は恋人を作る場所ではなく生活全般の訓練をするところであるため。
2	結婚すること。	交際の段階では同一の住居に住むことは認めていないため。
3	別の部屋で交際すること。	別の部屋での交際までは良いが、ワンルームタイプの部屋なので結婚して同居するのは難しい。
4	別の部屋に住むこと。共用スペースの利用や就寝の時間を守ること。就寝時は男女の部屋には行かないこと。	個室 5.8 畳なので同じ部屋には住めないため。グループホームとしてのルールは必要であるため。
5	寄宿舎タイプのグループホームの「夫婦用居室」や、マンションタイプのグループホームのに空きがあること。	寄宿舎タイプの単独居室は手狭であるため。同じ屋根の下で結婚した場合、他の利用者との人間関係にトラブルが生じることを回避するため。
6	カップルがお互いの気持ちを尊重し生活を維持し適切な支援を積極的に受け入れること。	知的障がい者同士の結婚生活においては、例えば、避妊方法を含めた性生活、出産計画、育児方法等難しい問題もある。利用者自身が自覚し積極的に支援を受け入れる状況にないと生活の破綻になる可能性がある。
7	夫婦で住めるユニットが空いていること。	夫婦で住めるユニットが、男性 8 名のみのホームの中にあるため、現在空いていないため。
8	他利用者に迷惑をかけないこと。	共同生活の場であるため。2人で住める居室の作りではないので結婚は現実的には難しいため。建物の構造上、壁が薄く声が聞こえやすいので、騒音等の問題が出るようなら入居は難しいため。
9	部屋の行き来はしないこと。	交際中に限らず皆さんに周知していることでありトラブルに発展しかねないため。
10	子どもかできた場合住居環境が対応可能な	子どもかできた場合は住居環境が対応してないた

	場所を探してもらうこと。	め。
11	専用の住居が用意できること。	生活に適した住居が用意できるかわからないため。
12	他の利用者との関係性も踏まえて可能と判断できること。	現在のグループホームは男女で建物が分かれており、異性同士での入居は想定していないため。
13	他の入居者の前で濃厚な接触等をしないこと。他の入居者に悪い影響を及ぼす行為をしないこと。	他の利用者と一緒に生活している場で、私的な交際のもと他の利用者に迷惑や悪い影響を及ぼすことがないようにするため。
14	グループホームのルールは守ること。	ルールを守らないと他利用者への影響があるため。
15	同一建物であっても部屋は別とすること。	ルールを守らないといけないため。
16	ルールを守り他者へ影響がでないようにできること。	一定のルールを定めないと無秩序となり集団生活に支障をきたすため。
17	同じ棟であっても部屋は別とすること。	単身用の居室の広さになっているため、2人暮らしとなると広さが伴わないため。
18	夫婦でグループホームに入居するには、他の利用者と一緒にすることを区別していただく。	当事者の生活に合わせたルールを決めるため。
19	避妊すること。	子どもが生まれた場合には支援が必要だが、その費用や、グループホームに乳児院や養護施設を併設させられる可能性を考えると、現状のグループホームの枠や制度だと厳しいため。
20	(あらかじめ決めた条件はなし)	過去そのような事例が発生したことはないため。
21	(あらかじめ決めた条件はなし)	他入居者への影響もあるが無条件で否定する事でもないため、その時に検討しようと思っている。
22	(あらかじめ決めた条件はなし)	現在、そのような状況になっていないため。
23	(あらかじめ決めた条件はなし)	交際中の二人の入居者の利用については前例がないが、本人同士のみならずその者たちの取り巻く環境全体の問題となるため。
24	(あらかじめ決めた条件はなし)	現在のグループホームは男子棟なので女性は住居できないため。

※個人情報特定防止などのため一部表現を修正しています。

問3(3)(4) 同一の住居に住むことを認めていない理由

* 入居者同士が交際や結婚した場合に、同一の住居に住むことを「認めていない」とした事業所について、その理由は次のとおりです（全163事業所）。

- 男女別棟であることや居室面積が1人用であることなどの構造上の理由が大部分であり、その他、これまで事例がなかったため想定していなかったことなどを理由としている例が多く見られます。

連番	認めていない理由	認めて欲しいとの要望への対応
1	入居者同士の結婚や交際を想定していないし、そのようなことが一度もないため。	一度もそのようなことがないが、今後そのようなことも想定して書類等を変更したい。
2	男性専用の施設であるため。	男性専用の施設であるから、同居したい旨があった場合は退居になる。別居の場合はそのまま施設に残ることが可能。
3	各住居を男性棟と女性棟で分けているため。	男性棟に相手の女性をつれてくる、女性棟に相手の男性を連れてくることは、他の利用者から理解は得られない。想いは尊重すべきだが、共同生活なのでもととのメンバーが不快に感じるようであれば一緒に住むことはできない。
4	男性と女性で完全にフロアを別にしていないため（1F男性2F女性）。	現在の建物環境では対応が難しいので、別のグループホームを探していただく（相談支援事業所等と連携をとりながら探す手伝いを支援）か、近くのアパー

		ト等で生活し訪問などでサポートする体制を考えていく。
5	男性専用であるため。	男女共用のグループホームまたはその他施設を紹介。
6	女性専用の共同生活住居でありかつ1DKであり、そのような2人の入居の部屋はないため。	認めてほしいとの要望はない。
7	同一住居に住むことができる環境がないため。	当事者、相談事業所等と共に、今後の展望について検討する。
8	女性限定でグループホームを運営しているため、男性の入居は認めていません。	入居者は「女性限定のグループホーム」として入居しているため、不安感等を与えないためにも例外は認められないが、このようなケースがあれば、夫婦の新居が決まるまで女性のみ入居することは可能にする。
9	女性専用グループホームのため。	女性専用のグループホームで他の女性利用者も入居しているため、男性の入居はできないが、ケアマネや医師と相談したうえで今後について考える。
10	対応する環境が整っていないため。	利用者の話を聞き、施設で対応可能ならばそれなりの準備をすすめるが、無理であればそれが可能な施設等を紹介する。
11	相談を受けたことがないため。	相談があった場合に検討する。
12	意思疎通が難しい利用者が多く、過去にも交際まで至った経緯はないので不明のため。	様々な関係機関と連携を図り話し合いを行っていく。
13	想定できていない。入居者の殆どが支援区分6で重度の知的障害を有し、婚姻へのサポートの想定ができていないため。	想定ができていない。
14	重度の知的障害の方たちで、現段階では前例がなく希望されたケースがないため。	当事者同士の同居等ケースが出た場合は当事者、関係者で慎重な協議をしたい。本人たちにとって最善の方法が何かを優先し意思決定したい。
15	居室は1人での利用を前提に募集及び周知している。ユニットの居室面積はすべて9.72平米で夫婦2人の利用は想定していないため。	現時点ではそのような相談はない。
16	現在、共同生活となっているが女性と男性で分けていることもあり同一の住居に男女が一緒に住むことは出来ないため。	考慮してあげたいが現在のところお断りする。
17	男性のみのグループホームであるため。	該当者・親族・職員で、将来についてしっかり話し合いをする。
18	単身男性専用のグループホームのため。	現在まで希望がない。
19	二人暮らしに対応した住居がないため。	相談があった場合には状況を精査して、要望に沿えるような対応をしていきたい。
20	現にいないため。	当事者同士の関係ではあるが、保護者の意見も必要と考えるため、話し合いを設ける。
21	男性専用のグループホームのため。	男性同士の恋愛であれば、要望があれば認める。
22	男性専用、女性専用のグループホームとして運営しているため。	他の入居者・保護者の方の理解を得る必要があり、現実的には難しい。要望がある場合にはサテライト型の検討が必要と考える。
23	契約書の利用対象に「男性であること」と定めているため。	理事会にて検討する。
24	男性専用棟と女性専用棟とに区分しているため。	現在そのような事例がなかったため具体的な対応策は考えていなかったが、今後そのような要望があった場合は、保護者をはじめ地元自治体を含めた関係機関・関係団体等と協議して対応したい。
25	男女混合の建物ではないので男女が一緒になることはできないため。	男女が一緒に住める場所を勧める。
26	1人部屋であり物理的に2人以上の方が住める広さではないため。	物理的に無理であると回答し、他施設で2人以上が居住できる部屋を探す。
27	入居者同士の交際は他の入居者への精神的	今まで入居者同士の交際や結婚が問題として挙がる

	な影響が大きい。ホームの構造や職員の体制も結婚に対応できないため。	ことはなかった。入居者同士の交際は他の入居者への影響が大きい。現状で認めることは難しい。
28	男女は別々の居住スペースを利用してもらうため。	要望はないが、施設を別に設ける必要性が想定されることから、現状ではお断りする。
29	男女で住居を分けているため。	これまでにそのような要望がない。
30	事例がなく考えていないため。	認めて欲しいと言われたら、子供は作らない、イチイチチャシないなどの条件付きにし、地域でアパートをかり2人暮らしができるよう支援する。
31	前例がなく、対応する体制が出来ていないため。	前例がなくその時点での対応になるため回答できない。
32	独り暮らしの間取りの居室のため。	家族や主治医・本人を含め関係者たちと話し合いを行う。
33	想定していないため。	想定していない。
34	同居に対応できる住居がないため。	サテライト住居を創設できれば支援は可能と思われる。当事者及び保護者の意向を聞き取りながら前提となる。
35	男性のみ入居可能なため。	該当なし。
36	現在の入居者は女性のみであり男性の入居は認めていないため。	夫婦で入居可能な GH や生活様式の提案や紹介を行う。
37	男性棟・女性棟で分かれているため。	事例がないので判断できない。要望があれば本人の意見を尊重しつつ対応したい。
38	個室が狭く、風呂、トイレ、台所が共用で、結婚生活を営むためのプライベート空間を確保することができないため。	これまでそのような相談は一度もなかった。もしあったとしても、グループホームを出て一般のアパートや公営住宅で生活できるように支援する。
39	2人から一緒に住みたい等の希望等はなく想定していないため。	希望が出た場合は真摯に向き合いたい。まず同居場所の選定。2人で住める居住場所は現在1人で住んでいる場所に2人で住めるか、同棲をみとめて支援体制が可能か、結婚を希望する利用者の支援体制が今の現場で可能か、2人の生活にどこまでの支援が必要かまたは可能か、どこまで責任をもって対応できるか等。
40	入居に対応する部屋がないため。	不可。
41	男性専用であるため（単身用・7畳一間）。	そうなった場合は他の入居者もいるので退所してもらう。
42	建物が男性用・女性用に分かれており男女で居住する建物がないため。	過去の事例はないが、アパートなどの住居を探す支援や相談支援事業所等の地域と連携して支えていく。
43	特に何も決めていないため。	法人や他機関と話し合う。
44	男性専用のグループホームのため。	話し合う。
45	実績がないため。	検討中。
46	男性専用であり、定員6名に対し男性の利用者が6名入居しており、現実的に交際や結婚にいたる環境にはないため。	特になし。
47	入居者は男性のみのため。	今までそのような要望も問合せもなく、男性限定のため決めていない。
48	男女別の施設で入居者・家族以外の立入りはできないため。	入居者・家族以外はグループホームに立ち入れないとしているため、例外なく守っていただくことになる。
49	男女混在のホームの設定がないため。	協議会等に相談し良策を模索する。
50	2棟のグループホームを男女別々で入居としており同一住居で生活することは困難なため。	当事者の意思に基づき住居が必要となった場合は、可能な限り2人で生活できるよう住居の確保等の支援体制を関係機関と連携のもと整備したい。何らかの方法で同一住居で生活できるよう取り組んでいく。
51	単身者向け居住環境となっているため。	結婚を望まれる場合はGHから地域生活に移行してもらうことが考えられる。
52	完全に単身者用の居室であるため。	これまで希望はなく検討したことはなかった。現実的に対応は難しいと説明することになる。
53	一緒に生活するための居室がないため。	今まで希望された方がいないため対応はないが、も

		し希望する方がいても居室もないので対応は難しい。
54	今まで対象者がいなかったため。	平均年齢70歳以上なので、現在のところ入居者からの相談は皆無。もし希望があればその時点で検討する。
55	住居の確保が出来ないため。	住居確保が出来ないことを説明する。どうしてもという場合は、同居できる事業所を探すか、事業所の契約を終了し本人に家を借りてもらい訪問介護や当事業所がサポートできる方法など、2人で生活できる方法を模索する。
56	2人で生活できる部屋がないため。	2人で生活するのは難しいため、本人と話し合い今後について相談する。
57	基本的に4～6名の共同住居型のため。	要望があれば2名定員のグループホームを新たに計画する。独立及び一般住居での生活を応援する方向で考える。
58	近くに住める住居がなくそれに関わるスタッフの体制が取れないため。	保護者を交えて相談を行う。住居棟の準備や地域の人への説明の準備を行う。
59	男性入居者のみなので質問に該当しないため。	質問に該当しない。
60	男性棟・女性棟が分かれている住環境的で、交際する利用者が一緒に暮らす環境になっていないため。	1軒屋やアパートなどを新たに取得しグループホームにするか、一般のアパートで暮らし外部から支援を提供する方法を検討する。
61	集団生活の中で夫婦が生活できる部屋も設備もないため。	入居者からの要望はない。
62	男性用住居と女性用住居にわかれているため。	今まで事例がないし想定していなかったため検討する必要がある。
63	入居条件を男性としているため。	男性入居を前提とした生活環境のため認めることは困難、今後の2人の生活スタイルを確認し本人合意の上、2人を交え家族や関係機関等と打合せを行い、福祉サービスを活用し希望にどのように沿えるか協議する。
64	まだ入居者の方々の自立が出来ていないため。また、居室が狭く、環境・設備が整っていないため。	本人の希望を含めた考えを聴く。現状を話し合う。
65	検討したことがないため。	施設会議を開催し今後のトラブルについて検討。
66	男性と女性で棟を分けているため。また、今までそういう相談や実績がなく協議したことがないため。	当事者としっかり相談して双方が納得できる形で対応したいが、おそらく条件付きになる可能性が高い。
67	男性のみを対象として入居受入れをしており、入居者同士の男女交際の事例がないため。また、男性の世話人がグループホーム内に居住する形態であるため。	グループホーム開所から16年間、メンバーの入れ替わりがほぼないが、現入居者から結婚の要望を受けたことがない。あった場合は理由を説明する。
68	共同生活援助（男性用）のため。	男女で生活できる住まいを一緒に探す。
69	男性の単身者専用であるため。	グループホームの運営規程で定めたとおり、要望は認められないと返答する。
70	建物が男性棟と女性棟に分かれており、男女混合の作りになっていないため。	相談支援事業所に担当者会議を招集していただき、本人の個別支援計画の見直しを行い、本人が思い描く生活の実現に向けてサービスの調整を行う。
71	男性と女性のユニットを分けているため。	同居する居室は提供できないため、同居ができるグループホームまたはひとり暮らしを選択してもらう。
72	複数人で住むことの可能な部屋がないため。	複数人で住むことの可能な部屋がないことを説明し、その他の希望の有無などを伺い検討を行う。
73	建物の構造上同居できるつくりではないため。また、他に共同生活する障がい者もいるため。	グループホームのルールを守って生活していただく。結婚生活が難しいため自立生活もしくは単身生活へ移行する対応になる。
74	居室が単身用で、2名以上での生活を想定していないため。	当共同生活援助での生活支援は難しく、アパートなどでどのような支援ができるか話し合いを行う。
75	2人暮らしに対応した住居がないため。	そのような相談があった場合は、状況を精査して、

		要望に沿えるような対応をしていきたい。
76	夫婦で住める環境ではないことと、周りへの影響のため。	ホームから出て生活してもらえない。
77	結婚は自由だが、グループホームが1階共同トイレ共同浴室のため現実的には難しいため。	なお、入居者間の交際は自由。
78	男性の利用者のみの共同生活援助施設のため。	特段の記載なし。
79	男女別の住居として運営しているため。	他事業所への紹介や、地域生活を送れるよう関係機関との調整を行う。
80	男女別棟で一人部屋で住居を用意しているため。	次のステップに進むと考え、当施設外の最適な住環境等を検討・支援していく。
81	男性専用ホームと女性専用ホームに分かれているため。	アパート等、独立して生活をしていただくか、サテライト住居による支援を検討する。
82	単身者専用のため。	今後どうしたいか話し合い、自立が見込めるなら近くのアパート等の部屋をみつけ連絡を取り合いながら、協力者としてボランティアで支援していきたい。
83	世帯住居がないため。	今まで前例もなく要望ない。
84	男女でグループホームを分けているので一緒に生活できるような場所がないため。	要望が出た場合は二人で生活できるようなアパートなどを探そう促す。
85	住居が男性・女性と分かれているため。	別な居住地を探す。
86	男性のみが入居しており、夫婦や交際の利用がないほか今後も入居予定がないため。	現在の利用者には事例がない。今後、事例が出た時は検討したい。
87	4人で一軒家に住む形態であり、結婚した場合には同居は難しいため。	結婚は、保護者の協力体制が難しい場合は、別の住宅を借りて住む形を取る方向で考えている。本人達に必要な支援をし、今まで利用していたグループホームのスタッフが無償で支援していかなければならないため制度の見直しが必要。
88	現時点で希望がないため。	要望があった場合には、どのような形を想像・要望しているか聞き取り、何が必要か、いつ出来るのか、どうしたら出来るかを本人達と話し合い一緒に考える。要望が実現可能ならば、保護者・各関係機関・法人内・事業所内で連携を取り、取組について検討し必要なことを洗い出しながら実行に向けて取り組む。
89	住居2棟が男性棟と女性棟に分かれているため。身体の性、心の性、好きになる性、表現する性の多様性尊重も含め、複数の利用者が共同生活をしている中、交際中や結婚した2人が同一住居に住むことはハード面でも対応の難しさがあるため。居室は全て同じ広さの居室で、1部屋に1人の原則を崩して2人暮らしまたは子どもとの3人暮らしとなった場合、家賃、光熱水費、日用品費などの実費の設定が非常に難しくなる。	当施設での対応は難しいながらも、利用者当人の気持ちは尊重すべきと考えるので、それが実現できる可能な他施設等の社会資源の紹介を相談支援専門員と連携しながら行う。
90	グループホームは入居者にとって家であり、そこに暮らす入居者は家族同然に相手を思いやり生活する必要があるが、入居者の中には交際や結婚への思いはありながらも自身の障がいや病気を考慮し我慢して今まで生活している方もいるので、そういう方たちのことも考慮する必要があるため。入居の際もその旨を説明し納得していただいたうえで入居しているため。	原則認めていない旨を再度時間をかけて説明する。納得できない場合は会議にて検討する。
91	居住環境が、交際・結婚生活を送る上では適切な環境とは考えられないため。	よく話し合い、違う居住環境を一緒に考える。
92	今までそのような申出がなく、検討したこ	もし申出があれば、本人たちと話し合いをして、事業

	とがなかったため。	所として行うのかほかのサービスを利用しての生活になるのか考えて相談したい。
93	男性と女性が分かれて生活しており、同一に住める住居が準備できていないため。	要望がなく対応したことがない。同一に住める住居が準備できないため認めてあげることができない。
94	居室の大きさや設備が単身用のため。	別の住居か他の施設へ転居して頂くことになるため、本人、家族、相談支援事業所と検討していくこととなる。
95	女性のみ利用しているグループホームであり、居室も単身で暮らすスペースしかないため。	本人たちや保護者、相談支援、市町村と連携して対応していくことが考えられる。
96	単身で居住する場所しかないため環境的に困難であるため。	重度知的障がい者しか受入がなく要望等が全くなかったが、まず保護者や相談支援機関に相談し対応するものと考えられる。
97	想定していないため。	家族と本人から話を伺う。
98	これまでケースがなかったため。	検討する。
99	男性専用の共同生活援助なので女性は入居出来ないため。	他の共同生活援助で男女で入れるよう検討するか、一緒に暮らせる住居を探し提案する。
100	前例がないため。	事例が出た場合は、本人の意思確認及びサポート体制等を検討する。
101	これまでにそのケースがないため。	さまざまなことを検討する必要がある。
102	1事業所に2つの共同生活住居を用意しているが、それぞれ男性用と女性用の共同生活住居としているため。	職場での不適應行動をなくしていくことや、無駄遣いをしないことなど、2人で生活するために必要なことを1つずつ確実に身に付けていくための支援を行う。
103	住宅環境が整っていないため。	他の施設等を探す手伝いをする。
104	男女を住み分け別棟で運営しているため。	アパート等の紹介になると考える。
105	そのような設備の居室がないため。	要望には添えない。
106	居住空間が狭く、初めから一人での居住となっているため。	家族や関係機関と協議を行う。
107	男子棟と女子棟に分かれており、一緒に暮らすことを想定した住宅ではないため。	他の利用者の暮らしも考えての判断になるが、当初から想定していないため検討していない。そういった状況になれば真摯に対応を検討していきたい。
108	該当する事例がないため。	該当する事例がない。
109	基本的に男女別で、個室も単身生活を想定した広さであり結婚生活には対応できないため。	生活の場は公営住宅等に移してもらうのがベストかつスピーディに対応出来る現実的な選択と思われる。退所のときは職員や福祉関係者、家族を交えた間断ない支援を提供するボランティア体制を構築したり、家事支援などの公的ヘルパーを必要なだけ導入するなどの周到な下準備を本人達とよく協議し作り上げる対応は不可欠である。
110	夫婦対応の物件ではなく、個室も夫婦で暮らすには狭すぎるほか、指定上も男女別であるため。	前向きに検討はするが、グループホームで支援継続よりは、一定の支援体制を構築した上で地域に出てアパートなどを借り生活をスタートした方が早い。
111	単身者専用であり男女別居住のグループホームであるため。	退去していただく。
112	単身者用の居室のみ提供をしているため。入居の契約時にも利用者に説明している。	同居できるグループホームや一人暮らしなどを検討できるよう相談支援等と連携し転居出来るよう進めていく。
113	一人部屋しかなく、既婚者用の部屋がないため。	保証人の許可と結婚後の生活の確保や見通しがつくのであれば良いと思うが、自分達で部屋を借りてもらうことになる。
114	定員6名で、男性のみの事業所のため。	他の事業所かアパート等を探す支援を行う。
115	想定していないため。	本人の意向に沿って相談にのっていきたい。
116	環境整備が出来ていない。	よく話し合ったうえで環境を整えていきたい。
117	今までそのようなケースもないため。	難しいとの回答をさせていただき退居していただく。国のフォローアップ体制がない限り困難極まる。
118	2人で住める居室がないため。	相談支援事業所にも協力していただき、必要な福祉サービスを提供し2人で住める場所を探していく。

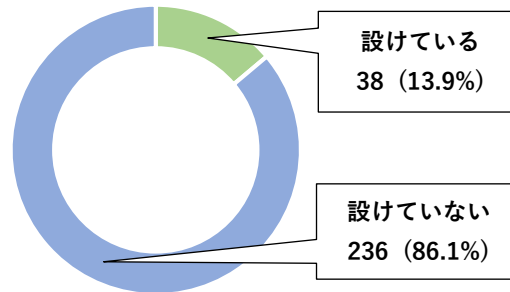
119	男性専用であり、一人暮らし用の広さの個室しかないため。	現時点で要望なし。
120	アパートタイプのグループホームで、目が届かないことがあるため。周りの入居者の方への配慮、異性を居室に入れてはいけないという決まりがあるため。	同建物には入居は出来ないが、どちらかが別棟へ移動し会うときは事務所内もしくは外で会っていただくよう対応している。
121	前例がなく検討したことがないため。	病状等、生活状況、主治医等の意見、家族の意見を参考にして、本人たちの希望に沿えるように検討していく。
122	今まで交際や結婚したいという話をされたことがないため。	考えて対応していくが、現状一緒に過ごせる居室がなく、そのような居室に改修することまでは考えていない。
123	男女別居住で性別を分けて入居しており、同一住居に住むことは難しいため。	一軒家のGHで共同で使用する部分（浴室、トイレ、洗面所）が多く、プライバシーの面などで男女一緒に住居は受入れは難しいが、サテライト型でアパートを借り上げて対応することは検討できる。
124	生活環境等の整備にいたっていないため。	そのようなケースへはない。
125	入居者は男性のみとなっており、女性の入居者は受入れがたいため。	臨機応変に対応したい。環境設定が可能かどうか判断し、本人たちの意思決定があった場合は、両方の親族などを含めて話し合いを行い検討する。
126	住居の造りや設備などカップルの生活の場として適していないため。	生活の場など本人の意向を尊重し相談対応が必要と思う。
127	女性棟と男性棟で分かれた小規模の施設であるため。	本人の希望を尊重し、相談員や医師と連携しながら同居ができるグループホーム等を確保する支援をする。
128	居室自体が1人部屋の環境しかなく2人で生活する部屋の環境がないため。	次のステップに行くための環境調整や支援のためどのようなことが必要か等一緒に考える手伝いをする。
129	男女混合寮とはなっていないため。	これまで認めて欲しいとの要望はなかったため対応したことはない。
130	定員1名の広くない作りで、トイレやお風呂が共用で性別に配慮したプライバシーを十分に確保できず、男性の入居者しか受け入れていないため。	現状では受入れは難しいため希望がある方には受入可能な他の施設を探すか、地域の中で生活が可能な居場所を探す。
131	男性単身の部屋のための住居のため。	同一の住居に住みたい要望であれば、要望に合う施設や住居等を探す。
132	別室なら可能だが、同室での入居は居室の広さの問題から難しいため。	本人から要望を聞いたうえで上層部と協議し判断する。
133	男性専用のグループホームと女性専用のグループホームに分かれているのでハード面に課題があり住むことができないため。	大部屋を夫婦専用の部屋にするなど柔軟に状況に応じて対応する。
134	居室の環境問題。	当事者・家族・事業者と話し合い。
135	女性専用棟1棟と男性専用棟3棟であり、同一の施設で生活する環境はないため。また、特例を作ることでも他利用者への不満や不信感に繋がるため。	当施設では認められないため他施設への移行や同棲生活を勧める。
136	男性棟と女性棟と分かれて運営している状況で、現在の利用者の生活状況を考えるととても難しいため。	要望があった場合は他のサービス提供も含めた中で保護者と協議になるものと考えます。
137	今まで入居希望がなかったため。	要望がある場合は、本人や家族等と確認し、2人で住むにあたっての周りとのルール等の確認は必要。
138	夫婦と一緒に住めるスペースがなくプライベートスペースがないため。	施設を作った際夫婦が入居する想定をしていなかった。これから検討する。
139	ルールや条件を決めていないため。	現在に至るまでそのような要望は出ていない。
140	建物設備の構造上、多床室を設けることが出来ないため。また、一定のルール作りが困難であるため。	入居の際に意思確認を行う。
141	男女の恋愛を原則認めていないため。また、建物の構造により2名同室は難しい状況	事例なし。

	況のため。	
142	入居者の対象が男性なので女性は利用できないため。	本人達にもう一度話を聞き、内容を保護者様に伝え相談する。
143	介護サービス包括型として男女別の建物で運営しており、同じ建物内で男女混合となると他入居者のプライバシー等の問題も発生する可能性があるため。	これまで同一住居への入居を認めて欲しい等の要望は聞かれておらず対応には到らない状況。相談支援事業所等との連携を図りながら、入居可能なホームを探していく。
144	男女別となっており同居できる環境がないため。	現在までそのような要望はない。
145	現状でそのようなケースが居ないため。	両者の意向を確認し、身元引受人にも相談し可能な限り実現できる方法を考える。
146	単身用の部屋作りで、複数名の居住をイメージしていないため。	複数名の居住をイメージしていない。
147	部屋の作りが個室のみのため。	男性棟と女性棟に分かれて入居は可能。
148	一緒に住む住居が確保出来ないため。	一緒に住む住居が確保出来ないため難しいと説明を行う。
149	居住空間や設備等が単身者対応となっているため。	前例がないため対応したことがない。
150	前例がないので検討したことがないため。	どうしたら同居できるか検討し努力はする。
151	プライバシーが保てなかったり漏れたりすることによってストレスを感じる当事者や他入所者もいるため。精神的な問題に加え、住居など物理的な問題は対応しきれないため。	前例はないが、結婚や出産育児は関係各所に相談や移行を行う必要がある。
152	住居や居室が単身者向けのため。また、浴室やトイレが共同のため。	今後そのような要望があればその都度、事業所としてできることやできないことを検討し、出来ないことがあった場合は関係機関と相談や連携し、対象者が希望する物やそれに近いものやサービスを探す。
153	男性専用と女性専用のため。	要望はないが専用のため認められない。
154	単身者を想定した居室であり、複数人での利用には手狭で困難が伴うため。	申出があれば検討するが、居室の広さや設備などを考えると難しいと考える。
155	同一住居に住むに適した環境のホームがなく、本人のプライバシーの保護は困難であるとともに、他利用者への配慮が十分に行えないため。	適した住居を見つけるため、相談支援事業所へ繋げる手伝いをする。
156	グループホーム内での同居を想定して支援を組み立てておらず、交際の有無にかかわらず他者との同居は認めていないため。	入居前に、他者との同居は認めていないことを十分に説明し、同意の上で利用してもらっているため、入居後に要望があっても対応は難しい。支援の組み立てや事業運営の見直しに時間を要するため、速やかな対応はできない。
157	24時間職員が居る体制ではないこと、子どもができた際の対応が難しいことがあるため。	要望が出た際に検討となると思う。
158	居室の広さが1人しか適応しないため。	支援相談員とともに対応可能な同様の施設を探す。
159	男性利用者のみを受け入れているため。	そのような事例がない。
160	グループホームの構造や部屋の広さなどを考慮した場合厳しいため。	生活力があるのであれば、グループホームを出て自立することを手伝い、グループホームのサテライトの利用などを考えていく。
161	対象事例がなく想定していないため。	支援体制や住居準備等も含めて適宜検討していきたい。
162	妊娠や出産となった場合に、その後の生計維持や養育などが難しいため。また、他の利用者への影響も懸念されるため。	初めに、同一住居での生活は難しいことや生計が苦しくなること、養育はかなり大変であることなどについて納得できるよう説明する。意志が変わらない場合は、相談支援事業所や市役所等に相談し、本人達の希望に添う別の施設を勧める。
163	単身者を前提とした居室であるため。	前例なし。

※個人情報特定防止などのため一部表現を修正しています。

問3(5) 夫婦又は交際中の二人が利用する場合、普段の生活におけるルールの有無

* 夫婦又は交際中の二人が利用する場合、普段の生活においてルールを「設けている」が13.9%、「設けていない」が86.1%となっています。



(n=274)

問3(6) 設けている場合の主なルール 【自由記載】

* 設けていると回答があった事業所（38事業所）で設けているルールは、次のとおりとなっています。

- 共同生活の場合なので他の入居者に迷惑となる行為をしないことなどを条件としている例が多く見られます。

連番	同一の住居に住むための条件
1	その方の取り巻く環境に影響を来さない配慮をすること。
2	普段の生活や作業で人に迷惑をかけたたり、人前でいちゃつくなどの行為をしないこと、お金の貸し借り禁止、性的接触の方法や確認、両名の保護者への周知等、その対象利用者がお付き合いに対して、能力や理解度にあわせ必要と思われる事項でお話をしている。ルールは書面等でこれといったものはなく、都度、説明や理解を求めケースバイケースで対応。
3	交際中であっても職員の許可なしに異性の居住スペースに立ち入らないこと。(玄関の指紋認証および防犯カメラで制御)
4	家族以外は居室に入らないこと、談話室で話をする事、外出や外泊はきちんとスタッフに伝えること。
5	親族以外の異性の入室はお断りしているので、話す場合は談話室で行うこと。
6	互いの部屋に泊まらないこと、時間を守ること、他の入居者に迷惑となる行為をした場合は退去してもらうこと。
7	日常生活(日課)が崩れないこと、仕事をしっかりと行うこと。
8	交際中であって互いの部屋を行き来しても良いが、21時以降は自室で寝ること。
9	夫婦だからと言って特別なルールの設定は必要ないが、共同生活援助の生活の中でルールがあるように、普段の生活の中で簡単なルールを設ける場合があり得る。
10	就労や通所などに影響を及ぼし過ぎない程度に生活リズムを持続すること。
11	他の利用者との人間関係悪くならないよう見守りを行いながら必要と思われる助言を行うので、それについて了解すること。
12	交際する過程で一時的な感情又は目に余る行動を慎むなど、ある一定の人としての秩序を乱すことのないこと。
13	具体的な事例はないが、今後利用がある場合は話し合ってルールを設ける。
14	支援者と家族は部屋に入る事ができるが、その他の人は施設内で面会する場合は、共用部のみとすること。
15	現在はいないため、今後設定することになる。
16	夫婦又は交際中に限らず、利用者同士の交流は共有スペースで行うこと。他利用者に配慮し、節度をもって生活すること。
17	一般的な男女の交際と同じように、時間的制限、外出先や連絡について。

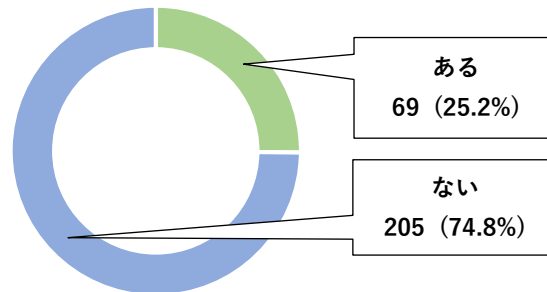
18	部屋の行き来はしないこと。
19	同じホーム内で交際されていた方々にはホームのルールを守って頂いていました。例えば、互いの居室への出入りはしないこと、お話しする時は食堂カリビングですること（夜7時まで）、外出時は届けを書くこと。
20	他の利用者と同様、外出外泊時の届出や、喫煙・飲酒等、共同生活をしていくうえで、必要な事柄を守ること。
21	会う場合は事務所内もしくは外で会うこと。
22	今まで経験がないため具体的にルールを決めてないが、認めた場合は本人たちを交えてルールを決めていくことは必要になってくる。
23	利用になる際には、きちんとしたルールを決めた上で生活していただくことになる。
24	現時点までケースがないが、それぞれの入居者ご本人の想いや特性などを踏まえたうえでの配慮が必要。
25	他の利用者と同様のルール。
26	互いの居室の行き来はしないこと、交流などは基本デイルームまたは外出時にすること（周囲の入居者さんの影響を考慮しての処置）、外出外泊は事前に許可書提出して問題なければ許可すること、みだりに他の入居者さんの周囲でイチャイチャしないなどの最低限のマナーを守ること。
27	他の利用者と共同生活をしている場で、私的な交際のもと他の利用者に迷惑や悪い影響を及ぼすことがないようにすること。
28	男性専用・女性専用のグループホームと分かれているので居室の出入りは控えること。
29	グループホームのルールは守ること。
30	居室出入りの禁止を守ること。
31	ルールを守り他者へ影響がでないようにできること。
32	グループホームや地域での生活する上での一般的なルールやマナーを守ること。そのほか、利用者の課題に応じたルールなども検討する。
33	交際中の方については、他利用者の利用する空間で迷惑になる様な行為はしないこと。
34	具体的なルールを決めても精神症状や理解力は様々なので具体的なルールを明確にはしていないが、例えば夜間は静かにするなど他者に迷惑をかけないこと。
35	個々人に合わせたルールを家族や支援者が本人たちと一緒に考えるのが良いと思うが、生活が独りよがりにならない事など、他人同士が暮らす上での最低限のマナーを守ること。
36	男女交際は自由だが、共同生活の場であるため、同居者への配慮等から、自室へ異性を招かないこと。
37	共同生活援助事業所の契約条項や重要事項に則って「周囲に迷惑をかけない」こと。衛生管理や安全管理、設備点検のために職員が入室することに同意すること。
38	それぞれの身元引受人が同意すること。交際相手をグループホームに宿泊させないこととし、宿泊する場合は先方の御宅かホテル等の宿泊施設を利用すること。

※個人情報特定防止などのため一部表現を修正しています。

問3(7) 交際や結婚、出産や育児の希望などについて、相談や申出を受けたことの有無

* 入居者や入居予定者から、交際や結婚、出産や育児の希望などについて、相談や申出を受けたことが「ある」が25.2%、「ない」が74.8%となっています。

(n=274)



問3(8)(9) 相談や申出の内容と、それに対する対応 【自由記載】

* 相談や申出を受けたことが「ある」と回答があった事業所（69事業所）で受けた相談や申出の内容と、それに対する対応は、次のとおりとなっています。

連番	相談や申出の内容とそれに対する対応
1	<p>【交際】 SNSのやりとりの悩み、お金の悩み、考え方の違いの悩み、相手の発言が理解できずどのように考えたらよいのかという相談。</p> <p>【対応】 一緒に考え、SNSに何でも載せないように、特に個人情報を載せないことやSNSの意見に振り回されないように伝えた。お金については一緒に使い方を考え小遣い制にするなど使い過ぎを防いだ。本人の希望で金銭管理支援を実施した。</p>
2	<p>【交際】 「好きです」「付き合っています」という相談。</p> <p>【対応】 異性のホーム出入りは禁止しているの、ルールは守るように話している。困ったことがあればすぐに相談するように話している。</p>
3	<p>【交際】 「昔から知り合いだった人に告白されて彼氏になった。彼氏も虐められていた経験があり私の気持ちをわかってくれる。子供が大好きだから皆で一緒に暮らそうと言ってきている。子供たちは引き取って1か月後に彼氏と住むことにしたからGHを出たい。」という相談。</p> <p>【対応】 相手の話をよく聞き否定せず、ケアマネと医師にも話してみようと伝えた。</p> <p>【結婚】 彼氏と暮らして将来は結婚したいという相談。</p> <p>【対応】 結婚について否定せず「結婚したら皿洗いや料理、掃除、洗濯など自分のペースでやるとまた部屋がゴミだらけになってしまう」と話し「早く彼氏と住めるようにGHで練習していきましょうね。」と伝える。</p> <p>【出産育児】 里親に預けている子どもを引き取るという相談。</p> <p>【対応】 本人と対話し「そのために何をしなければいけないか、子供達が幸せに暮らしていくために〇〇さんはどうしていったらいいと思いますか？」と尋ねると「強いママになる！」と言うので「強いママってどんな人？」「へこたれない人！！家事ができる人！！」と本人が答えました。本人がどんな人になりたいのかを明確にすることで「そしたら今はお部屋の掃除をしてないからまずそれを出来るようになるうか。」と話した。</p>
4	<p>【交際】 「アプリで出会って付き合った方と結婚を考えている。相手の方の住んでいるところに引越して同居しようと思っている」という相談。</p> <p>【対応】 相手の年齢や職業、住んでいるところなどの状況を把握し、何か2人の関係で困りごとがあったときは相談してくださいと伝えた。</p> <p>【結婚】 結婚したくグループホームを退去し相手のいる場所に転居したいという相談。</p> <p>【対応】 まずは予行練習として長期間の外泊を行い仮の同居生活をする事を提案。なお、妊娠したことがわかったが、その後すぐに流産してしまい具体的な相談とはならなかった。</p>
5	<p>【結婚】 SNSを通じて知り合いになり一緒に暮らしたい、遠距離恋愛のため彼の地元へ行き生活したいという相談。</p> <p>【対応】 金銭面についての現状と結婚後の収支見込を説明。また、本人達の思いだけでなく家族とも相談していくこと、自立した生活をしていく際にサポート体制について説明。</p>

6	<p>【交際】 交際することになったという相談。</p> <p>【対応】 祝福した。</p> <p>【結婚】 結婚したいと考えているという相談。</p> <p>【対応】 結婚後の具体的なイメージを確認し、同じ病気の経験を持つ仲間や結婚等を経験した仲間等とも相談内容を本人を含めて共有し結婚したい気持ちを祝福。</p> <p>【出産育児】 妊娠したという相談。</p> <p>【対応】 安全な出産に向けて本人と関係機関と相談し、精神障害があっても安全に出産できるように医療機関を選定。出産後も育児の相談に乗り、本人が母としての役割を担えるよう保育所の活用や養育里親さんの活用を取り入れた。</p>
7	<p>【交際】 当事業所外の異性との交際を認めて欲しいという相談。</p> <p>【対応】 入寮期間中の恋愛や交際は依存症からの回復の妨げになり、依存症再発の引き金になるため、回復が進んでからの方が好ましいと提案はしているものの、交際を認めるか認めないかは事業所が行うものではないことや、異性を事業所に入出入りさせないよう伝えた。</p>
8	<p>【交際】 様々な相談がある。①交際中に相手が何を考えているかわからないとの相談があり、話すことが足りていないのではと回答、②相手がほかの利用者に隠れて変なことをしていると相談があり、両名を呼んで確認したところ仲が良かったただけであった。③最近自分に優しくなくなった、すぐ怒るとの相談があり、両名に対しての意思確認を行い仲直りすることとした。④新しく好きな人が出来たとの相談があり、両名と新しく好きになった利用者の3者と話をし、その都度ごとに話をして交際の対応を行ったが、互いの気持ちが離れて破局した。</p>
9	<p>【交際】 入居者の女性(統合失調症)が一般男性と恋愛し2人で籍を入れ同棲したいという相談。</p> <p>【対応】 意志を両者から確認出来たので、その形になるように段階を踏み(統合失調症の説明、一日外泊から始まり外泊期間を伸ばしつつ、外泊が終わる度に両者からの感想等を聞くと言うのを数か月かけて)最後は同棲に至る。</p>
10	<p>【交際】 特定の女性利用者に交際を申し込んだが断られたという相談。</p> <p>【対応】 両者から事情を聞き女性側に既に交際中の方がいることや、頻繁なLINEが迷惑となっている事を男性に伝えた。男性は納得しなかったが保護者を交え数度の面談を重ねることで納得してもらった。その後両者の関係に特段の変化はない。</p>
11	<p>【結婚】 女性利用者から交際相手(一般男性)と結婚したいという相談。</p> <p>【対応】 当該利用者の家族と本人で話し合いを行った。結婚することとなった。結婚相手と同居をすることになり当事業所との利用契約は解除することになった。</p>
12	<p>【交際】 好きな女性がいます付き合いたいという相談。</p> <p>【対応】 交際は自由と説明。</p> <p>【結婚】 結婚して共同住居を出たいという相談。</p> <p>【対応】 家族を交え現状を説明し「本人が退居するといえれば止めることはできないため、しっかりと話し合って結果をおしえてください」と伝える。</p>
13	<p>【交際】 互いに付き合いたい意向があるが課題が多く結婚はすぐには考えていないという相談。</p> <p>【対応】 日常的な付き合いは構わないが、女性側に子どもや課題を抱えた家族がいることを考慮し、解決策を今後一緒に考えていくことを伝える。</p>
14	<p>【結婚】 半年後に結婚をしたいという相談。</p> <p>【対応】 引越するためのお金を貯めることと、金銭管理できるよう練習してクリアできたら2人で暮らす部屋を探す手伝うこととした。</p>
15	<p>【結婚】 入居者の男性から、通所施設で知り合った女性と結婚したいが女性の親が反対しているという相談。</p> <p>【対応】 結婚後の生活設計(家事や家計)を当事者2人と相談しながら立てて、反対している親を説得し、公営住宅を借りて結婚後の生活が営めるよう支援。</p>
16	<p>【交際】 「お付き合いしている人がいるから紹介したい。応援してほしい」「家族に交際のことをどのように話して良いかわからないから一緒に対応してもらいたい」「デートはどのような場所に行ったら良いかわからないからアドバイスが欲しい」という相談。</p> <p>【対応】 本人たちは交際自体が悪いことと勘違いして支援者に言い出せなかったとのことだったので、人を好きになることは障がいがあってもなくても同じとの共通理解を共に確認。デートの場所や家族への対応などできる限りのことは相談に乗り一緒に考えてあげた。</p>
17	<p>【交際】 交際について悩みを受ける場合があった。</p> <p>【対応】 話を聞き対人関係や生活リズムに支障がある場合などは対処方法を共に考えた。</p>
18	<p>【交際】 利用者から「別れた方がいいだろうか」など一般的な恋愛相談を受けることがある。</p> <p>【対応】 交際に関して特に関知せず基本は傾聴対応。</p> <p>【結婚】 利用者から「プロポーズされたがどうしよう」という相談。</p> <p>【対応】 基本は傾聴対応。</p>
19	<p>【交際】 通所先の方と交際しているが関わりについて戸惑いがあったという相談。</p> <p>【対応】 不安に思うことなどは全て聞いた上で、気にしすぎている部分が大きかったようだったので、できる範囲でアドバイスした。</p>

20	<p>【交際】〇〇さんとお付き合いしたいという相談。 【対応】徳に介入はせず。</p>
21	<p>【交際】交際について相談。 【対応】本人がどのように生活したいかを確認して、希望に添える形を一緒に考えた。ほとんどが施設外で会いたいとの希望。 【結婚】施設を出て結婚生活をしたいという相談。 【対応】生活環境を整えることや、結婚後に相談できる環境整備を行った。</p>
22	<p>【結婚】男性利用者が入所施設の女性利用者と日中活動の場である通所施設で知りあい交際しており、2人とも将来は自立し2人で生活する事を望んでいるという相談。 【対応】利用者2名と管理者・サビ管が面談を行い、将来自立し2人で生活する事が出来るようお手伝いする旨伝えた。</p>
23	<p>【結婚】将来結婚したいという相談。 【対応】共同生活から一人暮らしに繋ぐことが出来るかや、経済的に可能であるかを含め、段階的に自立に向けた取組が出来るか利用者と話し合った。</p>
24	<p>【結婚】将来結婚したいと話があったが時期など具体的なことは考えていない様子。 【対応】将来が望む形になるといいですねと話し、通所先の職員や家族と情報を共有。</p>
25	<p>【交際】親との関係や、交際者との外出、交際者との将来、新たに交際したい人がいるとの相談。 【対応】本人の希望を踏まえて、円滑に交際できる方法を助言。</p>
26	<p>【交際】通所先の異性より告白された。相手とどう接したらよいかという相談。 【対応】良好な関係が保てるように対人コミュニケーションに関する助言を行った。 【結婚】付き合っている相手と籍を入れたい。グループホームを出て二人暮らしをしたい。等の相談。 【対応】結婚生活に向け、引越先の検討、家族にどのように伝えたら良いかなど話した。</p>
27	<p>【結婚】近い将来結婚を考えている人がいるのでグループホームを退去し同棲したいと思っているという相談。 【対応】本人の家族、かかりつけ医療機関、相談支援専門員などにも本人から相談を行ってもらい、精神状態や退去の良いタイミングなどを関係機関も含めみんなで一緒に検討していきましょうと伝えた。</p>
28	<p>【交際】交際相手との付き合い方の相談。 【対応】利用者のレベルに合わせ、金銭や要求について嫌な事や無理な事はきちんと拒否をする(自分の考えを伝える)ようアドバイス。</p>
29	<p>【交際】交際したいという相談。 【対応】互いの意思を確認し、交際について家族の了解を得た。本人たちへは、妊娠したりすることがないよう助言。 【結婚】結婚したいという相談。 【対応】結婚生活に関する本人たちへの助言、家族への説明・相談を行った。</p>
30	<p>【出産育児】家族から不妊処置についての相談。 【対応】人権擁護・結婚生活の基本から考えて、不妊処置については適当とは思われない旨の助言し納得していただいた。</p>
31	<p>【出産育児】結婚承認の条件として、保護者家族より避妊の要望(1996年当時)。 【対応】男性が納得して避妊処置を受けた。 【出産育児】自分たちで子供を産み育てたいという相談。 【対応】自分たちで子供を産み(2016年)育てている(事業所は本人たちからのヘルプがあったときのみ対応)。</p>
32	<p>【交際】交際中の恋愛相談として様々な悩みを打ち明けられた。 【対応】傾聴が主となる。特に大きなトラブルに発展することもなく経過していた。 【結婚】婚活アプリで知り合った相手と結婚したい(相手とは1回も会っていない中で結婚を決めたと話し、GHを退去して相手の住む居住地に転居したいという内容)という相談。 【対応】結婚するまでのスケジュールをききながら、家族ともやりとりをして意思確認等を行った。はじめはアプリでしかも会ったこともない相手なので、否定する側で関わってしまい、利用者との関係が悪化する場面もあった。その後は賛成・反対は利用者とその家族の考えに委ねることとし、利用者からなるべく情報を得ることに努めた。恋愛感情が燃え上がると周囲の話しに耳を傾けることがしづらくなるようで、なるべく支持的に関わるように努め、GHと利用者の関係性を良好に保つように対応した。</p>
33	<p>【交際】付き合うことになった旨の報告。 【対応】グループホームの約束事である部屋の行き来はしないよう伝え、関係事業所へ情報共有を行った。 【結婚】将来的には結婚したいという相談。 【対応】結婚するために何が必要か、例えば「経済面の安定=就労を頑張ろう」など、入居者と一緒に考え話をした。</p>

	<p>【出産育児】 将来的に子供が欲しいという相談。 【対応】 そこに至るまでのプロセスを本人と話し、今何をするべきか一緒に考えた。</p>
34	<p>【出産育児】 以前グループホームに住んでいた方が親元に戻ってから交際した方との間で子どもができて出産したと報告。 【対応】 出産後に子どもは福祉施設に預けることができたこと、現在の住居では適切な育児が難しいと判断されたと事後報告をもらった。</p>
35	<p>【交際】 交際相手があり、将来的に一人暮らしして、その後結婚もしたいという相談。 【対応】 交際は自由なため特に対応することはないが、就労や生活に悪い影響がでないよう助言。</p>
36	<p>【交際】 様々な相談がある。①女性入居者より同ホームの男性入居者と話してみたい、付き合ってみてみたいとの相談。②男性入居者より同ホームの女性入居者へ手紙を渡して欲しいとの相談。③すでに付き合っている2人より映画や雪まつりへ外出の希望。 【対応】 相談に対し様々に対応している。①意向を確認し話す機会を作った。その後もそのような付き合いが半年程度継続された。②手紙を渡した。数回話す機会があったが付き合いまでは発展しなかった。③映画や雪まつりへ外出に同行した。 【結婚】 数年付き合っている2人のうち女性から、男性と結婚しホームを出たいとの相談。 【対応】 2人と話す機会を作り双方の意向を聞いたが、男性の方はそこまでの希望はなくこれまで通りの付き合いを続けたが、しばらくして自然消滅した。 【出産育児】 外部の方との付き合いの中で妊娠した事例。 【対応】 本人より報告があったため家族を交えて相談した。家族・本人共にホームでの出産・育児は難しいと判断し退居した。</p>
37	<p>【交際】 職員との交際に関する相談。 【対応】 利用者はキーパーソンである母親の賛同を得られず、共同生活の場において、他の利用者から苦情などがないよう配慮の上、付き合い方を提案。(職員は自ら退職の申出)</p>
38	<p>【交際】 現在交際中の女性が札幌のGHで生活しているが、その職員と親から交際をやめるよう説得されているという相談。 【対応】 恋愛も結婚も自由であるが、相手があることなのでどうしていきたいか一緒に考えることを勧め、その過程で困りごとなどあれば相談に乗ることを伝えた。</p>
39	<p>【交際】 女性の利用者に交際相手ができるとき、スマホに夢中になり仕事を休みがちになって給料も激減してしまい、どのように生活を組み立てていけば良いか本人もうまくバランスを整えられえずに悩んでいたケースが過去にあった。 【対応】 恋愛は素敵なことであるが、まずは自分の身の回りの生活のこと、生活をするためにはお金が必要であること、生活の中での優先順位を利用者と一緒に考え、生活のバランスを整えていった。ルール化も必要なことはあると思うが、まずは本人の気持ちを第一に尊重する中で、本人と一緒に必要なルールを決めるなどの対応をした。</p>
40	<p>【交際】 2名の女性利用者から、交際したい旨の相談。 【対応】 1名は、交際や結婚するために必要な事柄を教示しながら仕事等を頑張っており、交際相手も、事業所内の共同生活住居を利用することとなり、紆余曲折しながら現在も交際を継続している。1名は、札幌のGH利用者と遠距離恋愛を続けている。 【結婚】 女性利用者から、遠方の男性と結婚したいという相談。 【対応】 本人、家族(叔父叔母)、結婚相手、相手家族(父)と協議し、結婚後の生活の場や、結婚後の支援機関等の確認を行い、結婚相手の実家へ嫁いだ。その後出産し赤ちゃんの写真等のコンタクトは現在もある。</p>
41	<p>【交際】 事業所内で交際したいという相談。 【対応】 常識の範囲内での行動(人前でべたべたしたりなどしない)を心がけるように説明。 【結婚】 他事業所の利用者と交際しており結婚したいという相談。 【対応】 互いの家族に連絡を取り、相手の事業所職員、実施機関とも相談を重ね、本人達の意向を尊重し、結婚について賛同した。 【出産育児】 結婚の希望の申出の際、相手が妊娠しており出産育児をしたいという相談。 【対応】 結婚についての連絡と同時に互いの家族に連絡を取り、実施機関、相手の事業所職員とも相談を重ね、本人達の意向を尊重し、一般住宅への引越と育児していくことを了承した。</p>
42	<p>【交際】 交際相手がありGHを出て相手の居住地に引っ越す、同棲するという相談。 【対応】 家族等と協議を重ねた。</p>
43	<p>【交際】 日常会話の中で交際している人がいるという話を聞いた。 【対応】 話を聞き、相手を大事にすることや入居者に迷惑をかける行為(長電話や自慢話等々)はしないよう話した。 【結婚】 交際期間も長くなりこの先も一緒に暮らしたい、結婚したいという相談。 【対応】 結婚するには何が必要か一緒に考え話し合った。家族にも相談が必要であることを話し、まずは自分達で相談するよう促し、本人たちが家族に相談した内容(結果)の確認を行い、施設側からも両家家族に相談・報告した。両家家族同士でも話し合いを行い、両家家族から今後についての相談があり結果結婚に至った。なお、本人達から結婚式を行いたいとの希望により、</p>

	本人達・家族の要望を聞き、施設側で調整・段取りを行った。事業所内のGHで、夫婦で暮らせるスペースを確保して引越し、夫婦生活をスタートした。
44	【交際】一緒に生活したいという希望。 【対応】両者の希望を確認し、それぞれの保護者にも報告をし、2人で暮らせるタイプのグループホームを用意した。
45	【結婚】現在、他の事業所に入居している方と交際しており結婚するので退所したいと相談。 【対応】金銭管理に課題がある方であったため、結婚生活に向けて貯蓄して準備が整ってから動くよう助言。
46	【交際】マッチングアプリで知り合った方と交際を続けていくことについての悩みの相談 【対応】考えられるアクシデントを伝えつつ、本人の意思を尊重した。
47	【結婚】付き合っている人と結婚し一緒に暮らしたいと思っているが、相手が自分には生活能力がないから無理と言われた、自分は別れたくないが相手は別れたいと言っておりどうしたらいいか、などの相談。 【対応】一緒に住むのも結婚するにもお金がかかること、一緒になったから生活保護費がまるまる2人分出るわけではないと思うので保護費と障害者年金と工賃で衣食住を賄えるかどうかにもよると思うと伝えた。「別れたい」「別れたくない」の平行線だったため、仲介してお互いに伝えるべきことを伝えた。
48	【交際】デートに誘われており、相手のことが気になっている自分がいるけれども自分の気持ちがわからない、デート代も出してくれるし女性扱いしてくれているし、悪い気はしないという相談。 【対応】ご馳走してもらうことは金銭トラブルを招くきっかけになるので割り勘にすることを提案。自分の気持ちがわからない時は、わからないと相手に正直に伝えるように助言。 【結婚】マッチングアプリで知り合った彼氏と結婚前提の付き合いをしており、いずれ彼氏のいる場所に引越しして彼と彼の両親と同居したいという相談。 【対応】お試し期間として1か月相手の居住地に行き仮同居することを提案。
49	【交際】SNSで知り合った男性と付き合っており相手の元へ引越ししたいと申出。 【対応】SNS上の相手でもあり、安全な相手か情報を聞き取りながら、妊娠や避妊、DV被害から身を守る方法などを再教育。グループホームを出てからも安心して相談ができるよう関係を崩さないように関わっている。 【出産育児】未受診妊婦で緊急通報のあったケースの受入れを行ったことがあるほか、知らぬ間に妊娠していて突然出産したケースがある。 【対応】未受診妊婦については、町と協議し本人が育てたいと意思表示したのでグループホームで受け入れ、関係機関と相談してグループホームで子育て支援を行った。突然の出産のケースは、見相介入となり、母親には預けられないと保護されて現在も保護されている。
50	【交際】高等養護学校在学中に知り合った在宅生活の男性と共同生活援助に入居している女性の方より交際について相談。 【対応】管理者、サビ管、世話人（女性）とともに、それぞれ本人の想いを伺い寄りそうかたちで対応。女性は共同生活援助事業所に入居中であったため、外出の際の時間的なルールの確認や何か困りごとが生じた場合は世話人に抱え込まず相談できるように支援上の配慮も行った。 【結婚】交際が順調に進みそれぞれの方から結婚の相談。 【対応】本人達の意向も踏まえ結婚に繋がるよう支援。
51	【出産育児】相手が誰かわからない子供を妊娠し、産むことしか出来ない状況が発覚。 【対応】出産後、児童施設へ預けることを本人と親族で話し合い、結果として施設への入所の運びとなった。
52	【交際】好意を持つ異性へ告白したいという相談や、告白された異性と付き合いたいという相談。 【対応】告白したい、交際したいという本人の意志を尊重しつつ、相手の方の気持ちを思い図る必要もあることを伝えた。 【結婚】妊娠したため子供の父親と結婚したいという相談。 【対応】当事者双方の家族も含めて相談し、結婚する結論に至った。 【出産育児】子どもは産みたいが夫婦だけで育てることは難しいため手伝ってほしいと相談。 【対応】職員や関係機関と何度も検討を重ね、子育てをサポートしていくという結論に至り、当事業所以外の事業で対応。
53	【結婚】交際している時点でいずれグループホームを退所し結婚したいので自立した生活を目指したいという相談。 【対応】グループホームを経て自立した生活を目指すためにサテライト型グループホームへステップアップし、単身生活、金銭管理や医療機関、免許取得や社会人としての悩み相談など自立に向けた支援を行った。
54	【交際】2人から交際しているという相談。 【対応】グループホームの条件やルールを説明し交際を認めたが、結局交際がうまくいかずに別れることになり交際は中断した。

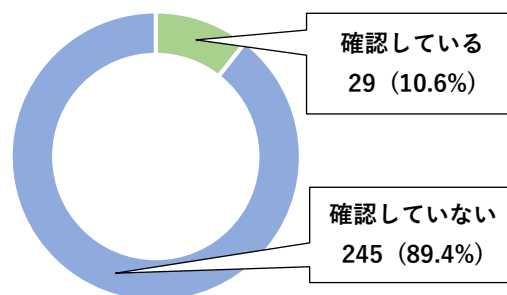
55	<p>【交際】 男性入居者から、女性入居者に好意があるという相談。</p> <p>【対応】 話を傾聴するに留め、特にアドバイスや助言などはしていない。</p>
56	<p>【交際】 交際について相談。</p> <p>【対応】 交際相手の確認と今後の交際について話を聞いた。</p>
57	<p>【交際】 他グループホーム事業所の方と交際しているという相談。</p> <p>【対応】 互いに違うグループホームのため、ルールを守りながら交際しているなら大丈夫ですと話を聞いた。</p> <p>【結婚】 交際している方とゆくゆくは結婚しようと話しているという相談。</p> <p>【対応】 相手の方の障がいを理解しながら時間をかけていった方が良いのではと伝えた。</p>
58	<p>【交際】 入居女性から、入居男性を好きになったという相談や、一般就労している入居男性が職場の女性を好きになったという相談。</p> <p>【対応】 1人は、入居男性の気持ちを聞いて入居女性に伝えた結果、交際には至らなかった。もう1人は職場なのでもう少し様子を見るように伝えた結果、交際には至らなかった。</p>
59	<p>【結婚】 仲良くしている女性利用者がいて付き合っており結婚もしたいという相談。</p> <p>【対応】 相手の女性利用者に結婚したいと思っているか確認したところ、結婚までは考えていないとのことであり、保護者にも本人が結婚したいと言っていることを相談したところ結婚させないでほしいと伝えられた。</p>
60	<p>【交際】 交際を考えていると相談。</p> <p>【対応】 基本的に否定をすることなく、事業所利用時に目的や個別支援計画の再確認を行い、優先順位を考えていただき、本人の生活が不安定になることやデメリットが多くなることが予想される場合は理解できるよう説明。</p> <p>【結婚】 結婚を考えていると相談。</p> <p>【対応】 基本的に否定をすることなく、事業所利用時に目的や個別支援計画の再確認を行い、優先順位を考えていただき、本人の生活が不安定になることやデメリットが多くなることが予想される場合は理解できるよう説明。</p> <p>【出産育児】 出産育児を考えていると相談。</p> <p>【対応】 基本的に否定をすることなく、事業所利用時に目的や個別支援計画の再確認を行い、優先順位を考えていただき、本人の生活が不安定になることやデメリットが多くなることが予想される場合は理解できるよう説明。</p>
61	<p>【結婚】 グループホーム入所前から付き合っている女性がおり将来結婚を考えているため、グループホームから出て自立した生活を送りたいという相談。</p> <p>【対応】 本人の意向を受け、サテライト型に移行し支援を行ったが、生活面に不安がありホームに戻ることもなかった。</p>
62	<p>【結婚】 地元近くに住んでいる交際相手と結婚し施設を出たいという相談。</p> <p>【対応】 本人と交際相手との話し合いを進め、両者の身元引受人とも話しをして、グループホームを退所し地元に戻って生活することになった。困った時に相談できる場所として、地元の福祉課及び相談支援事業所の情報提供と実際に相談をしている。</p>
63	<p>【交際】 試行的な同居をしたいという相談。</p> <p>【対応】 単身用の住居のため現状では難しいと返答。</p>
64	<p>【交際】 交際中の異性とのトラブルや、SNS等を利用した出会いについて相談。</p> <p>【対応】 2人で話し合うべきトラブルなので、アドバイスをしながら自分たちで解決している。SNSの使用については、個人情報の流出など楽しいことばかりでなく危険も隣り合わせであることを勉強してもらっている。</p> <p>【結婚】 結婚への憧れがある方がいた。</p> <p>【対応】 結婚するためにどんな力が必要か等を一緒に考え想像を膨らませ目標を持つようにすすめた。</p>
65	<p>【交際】 妊娠はしたくない、結婚するつもりはない、喧嘩をした、別れたい、などの様々な相談。</p> <p>【対応】 避妊すること、距離を置いた関係を保つことなどを助言。</p>
66	<p>【交際】 ①交際している相手とけんかした、相手が別の異性と親しくしていたなどどう接していけば良いかという相談、②交際中の相手と数年後一緒に住みたい、グループホームを出るとしたら地域でどんなサービスを使えるか、などの相談。</p> <p>【対応】 ①に対しては、不満や不安について傾聴し、ご自身がどうしたいのかを聞き出し考えの整理を援助した上で、2人で話し合うことが困難な場合、要請があれば立ち会って話し合いの仲立ちをした。②に対しては、住みたい地域の福祉資源を調べ、相談室など支援先につなぐ支援をした。生活に係る経費や日々の手続きなど「しなければならぬこと」や「ご本人たちが支援を必要と感ずること」を確認し、必要なサービスが提供されるための方策を考えた。</p>
67	<p>【交際】 ①マッチングアプリで知り合った人と付き合い始めた、②学生時代の後輩と付き合い始めた、③友達同士で遊んでいるうちに付き合うことになった、④職場の同僚と付き合うことになった、⑤付き合っている男性から暴力をされる、⑥付き合っている男性から望まない身体接触をされる、などの相談。</p>

	<p>【対応】直接会ったことがない人と初めて会うときは十分気を付けるように助言したり、虐待や刑事事件の疑いがある場合は市役所当の虐待窓口への通報や警察への相談を希望するか確認し、希望に応じて仲介した。</p> <p>【結婚】①付き合っている人と将来的に結婚を考えている、②付き合っているが結婚は考えていない、などの相談。</p> <p>【対応】結婚生活についてのイメージ作り等の助言や、付き合い方について助言。</p> <p>【出産育児】付き合っている彼女が妊娠したようだというなどの相談。</p> <p>【対応】本人や家族に出産に関する意向確認を行い意向に沿った対応をした。</p>
68	<p>【交際】男性利用者から、「〇〇ホームの女性が、△△ホームの女性と付き合いたい」と相談。</p> <p>【対応】なぜその2人なのか確認したところ、挨拶したらにっこり笑って挨拶してくれたことや、忘年会でテーブルが一緒だったということがきっかけとのこと。「2人のどちらか」という話は2人に対し失礼だと思うと話したが、理解できないようだった。2人に自分の気持ちを伝えて返事を聞いてもらいたいという希望だったので、2人の女性それぞれに伝えたが、2人とも返事は「イヤ」で一度会って話したいという男性の希望も断ってほしいとのことだったので、男性にそのように伝えた。</p>
69	<p>【交際】入居者本人から、別居の交際相手がおりに交際を続けていきたいという相談。</p> <p>【対応】交際を続けることは構わない。外出の際はどこへ行くか、いつ戻るかなど申し伝えをして頂いた。</p> <p>【結婚】妊娠がわかった交際相手と結婚したい、交際相手の家族と同居したいという相談。</p> <p>【対応】入居者本人の家族へ連絡し、家族を交えて本人の意思確認を行った上で結婚に向けて支援した。産婦人科へ同行を重ね、体調管理を助言。婚姻や登録住所の変更等、行政窓口への手続き付き添い。転居した先で身近な相談ができる相談事業所を紹介し引継を行った。</p>

※個人情報特定防止などのため一部表現を修正しています。

問3(10) 入居者や入居予定者の交際や結婚、出産や育児について希望の確認の有無

* 入居者や入居予定者から、交際や結婚、出産や育児の希望などについて、希望を「確認している」が10.6%、「確認していない」が89.4%となっています。



(n=274)

問3(11) 希望を確認している場合の対応 【自由記載】

* 希望を「確認している」と回答があった事業所（29事業所）が行った対応は、次のとおりとなっています。

- 交際について希望を確認した事業所は、他人に迷惑をかけてはならない等の留意事項の説明や、個別支援計画への反映などを行っています。

連番	内容
1	交際の希望を確認し、「交際したいが結婚したいと思わない」「自分は不適合者である」等の思いがあるようで「結婚したい」「出産したい」等の希望は今のところはない。
2	交際そのものは禁止していないので希望を確認しているが、交際相手をグループホーム内に入れることは禁じている。結婚については、結婚したいとの希望を確認し、将来結婚することになれば弊社のグループホーム利用は継続できないと説明している。
3	10代の女性入居者が多いため、交際の希望を確認し性教育を行っている。

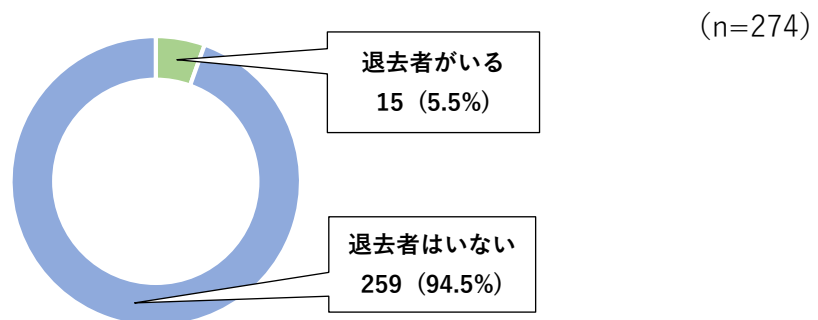
4	交際には制限を設けておらず、希望を確認し、入居に当たっての留意事項として「他人に迷惑をかけてはならない」「むやみに他の入居者の居室等に立ち入らない」等について確認。結婚の希望は確認しているが、グループホームの居室は個室となっており二人で入居可能な居室がないため、重要事項説明書にて全個室であることを説明し同意を得てから利用していただいている。
5	交際については、現在交際している人がいるかいないか聴き取るほか、モニタリングなどで随時確認している。結婚については、モニタリングなどで随時確認している。
6	交際は制限を設けておらず、希望を確認し、入居に当たっての留意事項として「他人に迷惑をかけてはならない」「むやみに他の入居者の居室等に立ち入らない」等について確認。結婚の希望は確認しているが、グループホームの居室は個室となっており二人で入居可能な居室がないため、重要事項説明書にて全個室であることを説明し同意を得てから利用していただいている。
7	交際の希望を聞き取るが、意思はないとの答しかない。結婚や出産育児についても意思はないとの答しかない。
8	現に交際していることは公然の事実になっているので、あえて「交際しているか」と確認しないが、交際していることを前提とした個別支援計画を立案し、両者に対して支援を行っていることから、交際状況も適時確認している。結婚については、個人面談やモニタリング面談などにおいて交際している両者に対して結婚（入籍）する考えが有るか否か確認したことがある。事業所として結婚を妨げる考えはないという前提で確認したが、その意思は両者とも全くなかった。
9	交際は制限を設けておらず、希望を確認し、入居に当たっての留意事項として「他人に迷惑をかけてはならない」「むやみに他の入居者の居室等に立ち入らない」等について確認。結婚については、結婚の希望は確認しているが、グループホームの居室は個室となっており二人で入居可能な居室がないため、重要事項説明書にて全個室であることを説明し同意を得てから利用していただいている。
10	交際の希望はケースによって確認している。結婚の希望を確認したところ、時期など具体的なことは考えていない様子であり「将来が望む形になるといいですね」と話し、通所先の職員や家族と情報を共有。
11	交際は制限を設けておらず、希望を確認し、入居に当たっての留意事項として「他人に迷惑をかけてはならない」「むやみに他の入居者の居室等に立ち入らない」等について確認。結婚の希望は確認しているが、グループホームの居室は個室となっており二人で入居可能な居室がないため、重要事項説明書にて全個室であることを説明し同意を得てから利用していただいている。
12	交際について、サービス等利用計画時の情報や事業所でのアセスメントにおいて、本人の意向を確認している。結婚や出産育児についても、サービス等利用計画時の情報や事業所でのアセスメントにおいて、本人の意向を確認している。
13	交際について希望を確認、互いに加害者・被害者の関係にならないよう双方同性の職員が付き合い方を説明した。
14	交際は制限を設けておらず、希望を確認し、入居に当たっての留意事項として「他人に迷惑をかけてはならない」「むやみに他の入居者の居室等に立ち入らない」等について確認。結婚の希望は確認しているが、グループホームの居室は個室となっており二人で入居可能な居室がないため、重要事項説明書にて全個室であることを説明し同意を得てから利用していただいている。
15	交際については話を伺うことがある。交際は自由なため特に対応することはないが、就労や生活に悪い影響がでないよう助言している。結婚についても話を伺うことがある。結婚は自由であると考えが、当事者同士だけの問題ではなく、家族や親族にも関わる問題になると想定される。
16	結婚については希望を確認し、互いの家族、実施機関、相手の利用事業所への連絡と、今後についての相談を実施。出産育児についても希望を確認し、互いの家族、実施機関、相手の利用事業所への連絡と、今後についての相談を実施。
17	交際については、アセスメント時に希望を確認している。交際は制限などを設けず自由に恋愛していただいているため、特別な対応などはしていない。支援が必要な事例が出た場合は、両者の気持ちに沿った支援をしていきたい。結婚については、アセスメント時に希望を確認している。過去に事例はないが、今後希望するケースが出た場合は、両者が望む結婚生活ができるように支援をしていきたい。
18	交際については、定期的に将来の希望を確認している。交際している方のいる入居者には、結婚の意思があるか確認している。
19	交際については、本人の希望を聞いている。時にトラブルになりそうな発想だった場合は、助言し、適切な関係が構築できるように声かけしている。
20	結婚について確認し「将来的には相手を見つけて結婚したい。結婚できるときにはホームを出て2人で暮らしたい。」との希望あったので、その目標に向けて就労することや貯蓄すること、お金の使い方など具体的な目標を立て、少しずつ現実に近い話合い計画を立てた。
21	交際は制限を設けておらず、希望を確認し、入居に当たっての留意事項として「他人に迷惑をかけてはならない」「むやみに他の入居者の居室等に立ち入らない」等について確認。結婚の希望は

	確認しているが、グループホームの居室は個室となっており二人で入居可能な居室がないため、重要事項説明書にて全個室であることを説明し同意を得てから利用していただいている。
22	交際については、希望を確認しているが特段の対応なし。
23	結婚の希望については、アセスメント時やモニタリング時に確認している。
24	交際の希望について、利用前のアセスメント時に将来希望する生活内容の聞き取りの際に、希望として受け付ける。結婚や出産育児の希望について、利用前のアセスメント時に、将来希望する生活内容の聞き取りの際に、希望として受け付ける。
25	交際の希望について、本人の話を聞き助言を行っている。将来的に結婚したいという思いがある方については、結婚するためにどのような準備が必要になるかなどを説明している。
26	交際の希望を確認し、個別支援計画書又は支援日誌に記録し職員で共有する。
27	交際の希望を確認し、交際できるように身だしなみを整えたり、生活力を高めていけるよう話す程度。結婚については、結婚の希望を確認し、具体的に必要なスキルが身につくよう苦手なことに取り組むことを勧め実践している。
28	結婚の希望について、アセスメント時やモニタリング時に確認している。
29	交際は制限を設けておらず、希望を確認し、入居に当たっての留意事項として「他人に迷惑をかけてはならない」「むやみに他の入居者の居室等に立ち入らない」等について確認している。結婚については、結婚の希望は確認しているが、グループホームの居室は個室となっており二人で入居可能な居室がないため、重要事項説明書にて全個室であることを説明し同意を得てから利用していただいている。

※個人情報特定防止などのため一部表現を修正しています。

問3(12) 入居者同士の交際や結婚出産や育児を理由とした退去の有無

* 入居者同士の交際や結婚出産や育児を理由とした退去について、「退去者がいる」が5.5%、「退去者はいない」が94.5%となっています。



問3(13) 退去にあたっての支援

* 入居者同士の交際や結婚出産や育児を理由とした「退去者がいる」とした事業所について、退去に当たって行った支援は次のとおりです（全15事業所掲載）。

- 退去に当たっては、退去に向けた外泊支援、住まいの検討、仕事の確保、家族との話し合い、相談支援事業所などの関係機関との話し合いなどが行われており、子育てのサポートをしている事業所も見られます。

連番	内容
1	入居者女性が一般男性と恋愛し、いずれ二人で籍を入れて同棲したいとの意志を両者から確認出来たので、その形になるよう、段階を踏んで、外泊支援、外泊期間の延長、外泊後の相談などを数か月支援し、最後は同棲に至る。
2	相手方の異性が家族等の支援者から交際を反対されており、結果駆け落ちしてしまった。支援をすることもできず居室の後片付けを行って終了した。
3	住まい・仕事の確保。その他、家族の同意など。

4	本人と家族・関係機関が集まり何度も話し合い本人の希望をしっかりと聞いた。交際期間が短かったが本人が強く希望したため相手方の住居に引っ越したが、4か月も持たず病状悪化し実家へ戻った。
5	ひとり暮らしをする際のアパート探しの支援をした。
6	グループホームを出て二人で暮らしていきたいとの思いを尊重し、実現に向けて住居の検討や関係機関への情報共有などを行った。
7	結婚披露宴の実施、独立した生活への移行を支援した。
8	夫婦で入居できるグループホームがないため、新居の確保・新生活の準備など協力した。
9	グループホームを退去し相手の住む居住地に転居したいというので、結婚までのスケジュールをききながら、家族とやりとりして意思確認等を行った。行き先がはっきりして連絡が取れる状況であること確認してから退去支援としてサポートした。本人の自立度が高いので目立って手を貸す場面はなかった。
10	外部の方との交際の中で妊娠した例があり、本人から報告があったため、家族を交えて相談した。家族・本人ともにホームでの出産・育児は難しいと判断し退居した。
11	他事業所の利用者との結婚のため、互いの家族、相手の事業所職員、実施機関と相談を重ね、本人達の意向を尊重し、一般住宅への引越しを支援。
12	本人達の意向も踏まえ結婚に繋がるよう支援を行った。その間、事業所だけでなく相談支援事業所なども交え、本人達とともに打合せや両方の保護者においても、ホーム側でも協力し本人達の希望に繋がるように背中を後押しする配慮を行った。入居している他の利用者とともに手作りの結婚式も行った。
13	妊娠したため結婚したいとのことで、双方の家族も含めて相談し、結婚して公営住宅で生活するという結論に至った。夫婦だけで育てていくことは難しく手伝ってほしいと希望があり、関係機関と何度も検討を重ね、子育てをサポートしていくという結論に至り、グループホーム以外の事業で生活全般のサポートを行った。
14	本人から、彼女が妊娠したため結婚し彼女のアパートに引っ越したいとのことで、双方の家族も含めて顔合わせし全員の意思を確認。入籍の時期や引越しの時期などの打合せ。本人の一般就労先にも連絡。引越当日は荷物運搬を一緒に行った。相談支援事業所とグループホーム退去後の今後の方向性について打合せ。退去後もしばらく職員が新居を訪問し生活状況を確認しアドバイス。
15	両親との連携。引越し支援。

※個人情報特定防止などのため一部表現を修正しています。

(参考) ご本人のその他のご意見

問7 その他 (自由記載)

* その他 (自由記載) 欄に寄せられたご意見 (全753件) のうち、交際や結婚、出産、子育てに関する思いや考えが書かれた320件を掲載しています。

<18～29 歳男性からのご意見> (全 63 件中 34 件抜粋)

性別	年齢	内容
男性	18～29歳	想像できません。
男性	18～29歳	自分は相手に伝えることが難しく、交際とか自分にはできるのかと不安がありました。
男性	18～29歳	アニメゲームの女性キャラクターが好きなので現実の女性に興味ないです。
男性	18～29歳	お付き合いに関して母から猛反対を受けていて、いざ結婚するとなると更に猛反対を受けそうです。またその件で家族と縁を切る可能性があって子育て等で不安があります。
男性	18～29歳	目標は一人暮らしをしたい。
男性	18～29歳	じしんない
男性	18～29歳	このアンケートでは調査になりません。グループホームには、結婚をしている人色々な方々が入居されています。いったい何を調査したいのか。
男性	18～29歳	ホームで静かに暮らしていきたい。年金が続くか心配。
男性	18～29歳	早く病気を治して、一般就職をして、好きな人と一緒に住みたい。
男性	18～29歳	どんな形であれ、その人達が幸せなら、それでよし！！
男性	18～29歳	ぼくは結婚がしたい。
男性	18～29歳	現在、離婚していますが、子供が2人別れた奥さんと生活しています。
男性	18～29歳	sex (行為) とかしなければ自由に行ききできるようにして欲しいです。もし子供が欲しいとしても女性の意見ではんだんがいいと思います。
男性	18～29歳	どうしたらいろんな人とおつきあえますか。
男性	18～29歳	好きな人がいるが告白できない
男性	18～29歳	生活する上で金銭面について不安である。
男性	18～29歳	自分の事とか考えると特に思った事ない。
男性	18～29歳	〇〇〇〇さんへ恋愛です。会いたいです。
男性	18～29歳	今のグループホームにずっと居たい。
男性	18～29歳	これからの生活を頑張っていきたい。
男性	18～29歳	もし子どもができれば子育てがうまくいくかどうか考えている。
男性	18～29歳	いろんな な〇さい まだきまってません。けっこんはあとできめます。
男性	18～29歳	ゲームやパソコンがとくいなかのじょがほしい。
男性	18～29歳	子供が欲しいと思ったことはある。でも、子供ができるということは、自分の子孫を残すということで、自分も今まで以上にしっかりしなければいけないという思いがある。そう考えた時に「自分はしっかりしていない=子供を望んではいけない」と考えている。
男性	18～29歳	自分はかなりきんちょうのつよいかんじがあり、本当の事を言うと、そう言うこうだけを早くしてみたくてどうしようもありません。なのでとにかく、年下の女の子と出会いたい。そう言うこういをしてみたくて、今どうしようもありません。
男性	18～29歳	まだわからない。
男性	18～29歳	子どもができた時、病院で何をやるかわからないので心配。女性と交際したことないので色々不安なことも多いです。
男性	18～29歳	自立したあと、良い人がいれたいですね。結婚するなら、1年くらい、どうきょをし、お互いの気持ちをかくにんしてからしたいですね！心配な事は子そだてですね。まだまだ先の事です。子の目標になれる大人になりたいです。
男性	18～29歳	女の子とつきあってけっこんしたい。
男性	18～29歳	時が解決してくれると思いたいです。
男性	18～29歳	結婚したいという気持ちはあるけど料理ができないという事もあり、言えなかった。
男性	18～29歳	私が結婚したとしてその後子供が出来て子育て仕事を両立できるのか？性教育をしっかりしたほうが良いと思いました。離婚せずに無事に子育てを終えられて老

		後までくらせるのかなと不安があります。収入、生活、子育てについて学んだり、経験者の話を聞ける機会があれば良いと思いました。
男性	18～29歳	興味ない。どんどんいくと、痛い目にあう。うらぎられる、別の男。友だちの悪ふざけコワイ。きょうふ感がある。アニメの影響。
男性	18～29歳	好きな人と交際する前に家族や支援員さんに相談する。
男性	18～29歳	生活がらくになる事のできる人とうすくくらしたいです（〇〇の人です）できればふつうの人とふつうの人とのかんけいがいいです。

<18～29歳女性からのご意見> (全47件中28件抜粋)

性別	年齢	内容
女性	18～29歳	あと4年で私も彼も一般就労につき、グループホームを出て二人暮らしをしたいです。その後、結婚、出産、子育てもしたいです。3人子どもを産むとしたらどのくらいお金を貯めたら良いですか？その子にもよりますが18歳までに自立させてあげたいです。
女性	18～29歳	今の彼と一緒に住みたいです。どうか自分の出来ること、増やしていきたいです。
女性	18～29歳	今は恋人はいないですけど、いい人がいればいいですけど・・・コロナの中でそんなことができないのでそこがきになります。職場の職員が過去の元彼のことでめ事があって心配されます。
女性	18～29歳	持病があるので子どもができたときに遺伝したらどうしようとても不安。今までマッチングアプリを使って男性と交流したことがあるが、ほとんどが身体目的だったので男性と交わるのが怖く感じる。好きだった人にひどい言葉をかけられたことがあり今でもふと思い出して辛くなる。
女性	18～29歳	お付き合いもしたいし、結婚もしたいけど相手がいないのでいまは考えるだけですんでいます。
女性	18～29歳	グループホームに入っている人たち同士で結婚したいときとかグループホームに入っている人と実家暮らしの人が結婚したいときとかのしくみを作ってほしいです。
女性	18～29歳	グループホームの利用者同士の間に生まれた子どもの育児はグループホーム内の支援に入りますか？
女性	18～29歳	グループホームに入っていなかった時に感じた事を答えてしまいました。今は、結婚願望も相手も欲しいとは思っていません。
女性	18～29歳	私は、現在は出産に関しては考えていないが、それは自身の抱える発達障害や精神病があり、故に生じる不調の中で二人の人間を育てるということに、不安があるからである。私自身が発達障害を持って生まれ、精神病に悩みつつも、生まれてきたことを悔やんだりはしていない。それは、家族や周りの支援に恵まれてきた為だと思う。だから、この先、絶対に子供が欲しくないとかでは無く、子供を育てられる様々なサポートを受け、安心出来るのなら、子供が欲しいと思うかもしれない。
女性	18～29歳	今のところ、特に好きな人や付き合いたい人はいないのですが、もし、今後出来たとしたら、親や周りの人に相談する勇気が出ないと思います。そういう時は、どうしたらいいのかな、と少し心配です。
女性	18～29歳	子どもできた時に支えんしてくれるか心配です。
女性	18～29歳	けっこん25才までにしたいこどもは30才でうみたい。
女性	18～29歳	考えは簡単にかわるかもしれないので、交際や結婚のメリットデメリットなどがわかりやすければ対しょがしやすいと思いました。
女性	18～29歳	今、好きな人とsexしたいんですが、コンドームつけた方がイイの？コンドームつけたらにんしんしないの？早く、けっこんしたい。(20代で)生理終わるの？にんしんしたら。今いる男性職員いるあいだはココ辞めたくない。
女性	18～29歳	そもそも出会いがない。
女性	18～29歳	〇〇とけっこんしたいです。
女性	18～29歳	本人(入居している人)が拒否しているのに去勢・避妊手術を強制するのはよくないと思います。もし、去勢・避妊手術が必要な入居者がいる場合は納得(理解)できるまで説明するべきです。
女性	18～29歳	交際・結婚・同棲についてはお互いの本人の意思をしっかりと聞いて尊重して交際・結婚・同棲活動を計画的にさせる様に指導させるべきであります。したがって去勢手術する様に指導したGHは断罪すべき。
女性	18～29歳	どうきよするには、どこまで自分のことが出来るようになればいいですか。
女性	18～29歳	めんどくさいから結婚はしたくない。

女性	18～29歳	障害があっても子育てしている人はいるし。最初から出来ないとか出来るわけないとか決めつけるような言い方をされるのは腹が立つし「そういうの言っていない」とか言われてもそういう方してるでしょって、聞いた側の感情であって、それを決めつけられる筋合いなんてない。子供が出来たらもちろん一度職員には相談するけど、当事者の気持ちを尊重させてほしい
女性	18～29歳	つき合った事がないからすべてが不安妹が先に結婚しているので親から早く結婚しなさいと言われるプレッシャーがある。つき合う人が出来てから相談にのってくれる人がいたら安心できる
女性	18～29歳	男女のことだけではなく同性についても考えてほしいです。同性の方々が行きやすい世界になってほしいです。LGBTQの方々にも、もっと取り組みを考えてください。へんげんのない世界になってほしい。
女性	18～29歳	好きな人が同じ知的しょうがいを持っていて、子どもを育てることが不安です。
女性	18～29歳	私たちは2人で話し合っていますので。結婚の事も2人で話しています。今、私たちは、付き合って、5月で1年たちます。相談したところで、きちんと考えてくれるのでしょうか？私たちは今現在、職員に相談しても、きちんと話をきいてくれないので信ようはしていません。ですから、相談したところで、私たちはしんようしてもいいのでしょうか？そこが心配です。
女性	18～29歳	けっこんしたら、ちゃんとやりくりのこととか生活のことができるのか心配です。
女性	18～29歳	プロポーズを受けた後に結婚のあいさつに行く時お相手のグループホームの職員さんからどんな風に見られているのか少し心配なのと、婚姻届の書き方がわかりません。

<18～29歳その他の性からのご意見> (全4件中3件抜粋)

性別	年齢	内容
その他	18～29歳	子供に関しては作りたいのならセキニンをもって作れば良いと思う。ただし子供を作ったならばコセイだとかはカンケイない。
その他	18～29歳	子はいらん。
その他	18～29歳	結婚って大変ダナア。彼女はいたか都合で7日ほどで別れた。(今東京?)自分は上品に生きたい。ストイックに ちなみに私はバイセクシャルです。

<30～49歳男性からのご意見> (全156件中67件抜粋)

性別	年齢	内容
男性	30～49歳	かつて女性と交際していましたが、親の意向で打ち切りました。その際は自分でも付き合っていた方への了解するときにあやふやな気持ちでOKした部分もあったと思います。今後交際のチャンスがあったらしっかりと考えて了解するか否か判断したいです。
男性	30～49歳	大切に過ごしたいです。
男性	30～49歳	グループホームに入所する前結婚して現在〇歳になる息子がいます。今は離婚しており別々に暮らしています。
男性	30～49歳	収入が少ない障がい者に、こういう事を聞くのはナンセンスだと思う。収入が少ないのに、結婚を考えるのは無責任だし、報道で問題になったグループホームの対応は論外だが、とはいえ、周りから能力も無いとさんざん言われているのに、交際なんて、ましてや、結婚なんてありえない、というのが正直なところである。
男性	30～49歳	障がい者の交際や結婚について健常者と同じようにあるべきだと思います。40代の僕は今後子どもや結婚は諦めております。ただ、若い子達には交際する自由と支援を望みます。
男性	30～49歳	結婚もお付き合いも考えたことはありません。自分の自立がいちばん。
男性	30～49歳	彼女との結婚は考えていますが今はグループホームにいることでまだ難しいと職員から言われました。
男性	30～49歳	同じ年齢の若い女性とお付き合い人が見つからないからこまっています。どうすればいい人に見つかりますか。同棲してもいいと思います。
男性	30～49歳	お金がかかるから。経済的。
男性	30～49歳	早く彼女に会わせて欲しいの一言に尽きる。
男性	30～49歳	早くグループホームを出てかのじょをつくってどうせいがしたい。
男性	30～49歳	しゅうにゅうとかのめんでもそままでいかなかった。
男性	30～49歳	〇年に当事者研究会で恋がしたい研究の発表をした。(タイトル/自己病名) 恋愛感情わからん病、アドバイス(助け方)を実行したが、うまくいかず恋愛に発展

		しなかった。私、自閉スペクトラム症（アスペ）で知的もグレーゾーンで、見た目は健常者と見分けがつかません。それなりに何でも出来るので、支援の波に乗れないので、私を支えてくれるパートナーがいてくれたらなあと思う今日この頃です。
男性	30～49歳	私は自分の病気と付き合うだけで精一杯なので、異性と一緒に過ごすことが考えられないです。しかし、将来的なことを考えた場合、親、兄弟、身内がいなく、財産や墓など、いわゆる終活をどの時点で行うか等、不安材料が多くある。これは、私だけでなく、道、国が抱えていく問題と感じます。障がい者が住みよい世の中であってほしいです。
男性	30～49歳	いまのままでいいです。
男性	30～49歳	これからの出会いやその女性との出会い、子どものこと等について、かんがえていきたいです。これからの自分が本当に幸せというべきものもさがしていきます。
男性	30～49歳	私は結婚や子育てについて、自分にとってのリアリティのある事として考える事が無かったので、障がい者カップルのそうした事に関して、是非というような程の意見を持ち合わせていないのですが、ただ、手術などして体を傷つける形での避妊の処置はして欲しくないと思います。 ところでグループホームの部屋って、同棲とか出来る位の広さのあるものなんですか？
男性	30～49歳	もし、この先彼女が出来たら、他のマンションに移って、同棲するつもりです。
男性	30～49歳	私は20代～30代にかけての女性が好きな男性です。男性はおそろしい。
男性	30～49歳	今のままでいいです。
男性	30～49歳	まだ交際した時は、健常者だったが、そんなに深く考えてなかった。ただ、両思いで何気なく付き合ったので、子供が欲しいとか全く考えていなく、ただ、毎日楽しく過ごす事しか考えていなかった。今も子供とかはいらないが、交際はしたいなどは思っている。
男性	30～49歳	2人暮らし希望です。
男性	30～49歳	彼女とは、二人で仲よくしていきたい。
男性	30～49歳	かのじょことでもんだことしたが、今でも気にになりますね。今はかのじょはいりませぬ。
男性	30～49歳	結婚した時に生活費の予算がわかりません。
男性	30～49歳	私は小さい子どもの声が苦手です。 交際はしたいけど、いかがわしいことなどはしたくないです
男性	30～49歳	そもそも出会いがないです。
男性	30～49歳	グループホームで出産までやってほしい。
男性	30～49歳	きゅうりょうが、やすのでけっこんせいかつできない。
男性	30～49歳	とくにないです。いま、愛しているじょせいがついて、もうかれこれ18年もつきあっていて、いつの日にか、二人きりのくらしか、いもうとさんもいっしょにくらしたいと、つよくきぼうしています。それには、くにもしえんをうけたいです。金せんのしえんをおねがしたいです。できればねがいます！
男性	30～49歳	結婚、子子供をつくるの可否に関わらず、不妊処置には反対である。
男性	30～49歳	40才で、けこんして、子供を2人ほしい。
男性	30～49歳	以前結婚していて子供1人います。今は別れています。
男性	30～49歳	結婚したい。
男性	30～49歳	自分は今、グループホームの施設に入って6年目になります。でもグループホームの施設からはなれていったばーいどうしたらいいか、自分ではどうしたらいいかわかりません。
男性	30～49歳	結婚で一緒になったら自分の時間がなくなってしまうから。
男性	30～49歳	障がい者だから大変すぎます。
男性	30～49歳	結婚して、子供が生まれた時に育てる事です。
男性	30～49歳	お金もないしなあ、なかなか相談していかげつしないよ、無力感。
男性	30～49歳	結婚より、女性の友達としてなら考えたいです。そういう場があればいいなあって思います
男性	30～49歳	安心して障がい者の方たちがグループホームにて同棲など出来る体制作りかその他支援体制が進めば良いなと思いました。
男性	30～49歳	そもそも異性との付き合いとはどういうことなのか？よく分かりません。また、付き合ったとしてまわりをまきこむとなるとしたいこともしたくなくなる。しにくくなる。楽しいハズが楽しくなくなる。
男性	30～49歳	テレビであったことないようにしてほしい（道南のこと）。

男性	30～49歳	グループホームを出て相手とくらすことしか思いうかばなかったからです。しえんせいをちゃんとしてほしい。
男性	30～49歳	一人でくらしてみたい。
男性	30～49歳	こそだてはむずかしそう。
男性	30～49歳	自分達で生活するようになったらお金がたくさんかかるから不安。(結婚した場合) 誰かの支援が必要。(相談する人など)
男性	30～49歳	女性と交際したことがありません。友達はいます。その人と交際したいです。
男性	30～49歳	家庭がほしい、兄と妹に自分の妻を見せたい。
男性	30～49歳	産まれてきたから1度は、結婚してみたいです。その為に今お仕事もがんばります。
男性	30～49歳	・ことし11月で○歳になる。子を育てる能力が無く、且つ広汎性の発達障害が年を重ねる毎に重たくなってきている感がある為、結婚はおろか出会いのチャンスさえないのでとも思う。
男性	30～49歳	健常者とおつきあい結婚したいです。
男性	30～49歳	家に帰って子どもの顔がみたい。(たまにでも良い) 歩けるようになって前の生活に戻りたい
男性	30～49歳	2人でいつしよにいえの中をみにいきたい。 どんどんそうだんをするようにしたい。
男性	30～49歳	・自分に好きな人ができたらつき合いたい。できれば一緒に住みたい。 ・結婚もしたい。
男性	30～49歳	結婚したくはない。
男性	30～49歳	今までつきあってた人と、しっばいしたので1人の方が気が楽です。
男性	30～49歳	グループホームにいると出会いがありません。
男性	30～49歳	あまり結婚については興味や関心がなかった。
男性	30～49歳	一人暮らしの自立した生活を早くしたいです。 (グループホームから出て、普通の一般の仕事を早くしたいです)
男性	30～49歳	将来的にはしたいと思っています。
男性	30～49歳	GHでも彼女とか自由にできたら良いな。
男性	30～49歳	経済的に無理と思ったからです
男性	30～49歳	グループホームの部屋がせまいから生活できない。 グループホームの部屋が広いから生活できる。
男性	30～49歳	・生活面(お金のやりくり)。 ・仕事が長く続けれるかどうか。 ・もし彼女と同棲してうまくやっっていけるか。
男性	30～49歳	今は○○のグループホームに住んでいるので相談出来る支援員はいますが、グループホームを卒業した後の相談する人を見つけるためのとき、時間がかかるのでだれがいけないか心配になります。
男性	30～49歳	お金のやりくりが心配。結婚式のお金がいくらかかるか心配。

<30～49歳女性からのご意見> (全110件中50件抜粋)

性別	年齢	内容
女性	30～49歳	グループホームに住んで結婚して子どもほしい。
女性	30～49歳	自分のような遺伝する障害を持っているものが子孫を残すことはその子が行きづらく人生が苦しいものになるので生みたくないのと、だいいち結婚したくない。
女性	30～49歳	人間としての関係を作るときに男女を超えて年齢にもとらわれずに自由な人付き合いを求めているので、既存の関係性(男女であれば恋愛関係といった)今まで通りの付き合い方、関わり方にこだわる必要は必ず必要なわけではないと思います。でも誰であっても礼儀や最低限必要な一線は越えない方がいいと思います。
女性	30～49歳	女子だけのグループホームの方がいい。入浴しやすいため。少し自由になる。クリクラはいつでも使用できるようにしたい。古くなったら新しくリフォームしていただきたい。
女性	30～49歳	症状的に結婚できない。受け入れてくれる人はいないのじゃないかと思う。また、不調で婚活どころじゃない。子どもは、自分が生きたくないと思ってる世界に産みおとしても良いものか・・・親が精神病じゃ、子どもにづらい思いなどさせるのではないか。子どもに遺伝しないか心配。
女性	30～49歳	私はLGBT当事者で同性の人が好きなのですが、だから好き=交際したいなのかがわかりません。問4-1にわからないという選択肢がなかったなので、はいに○をしました。今の日本だと同性婚は認められていないので、問5-1はいいえに○をしました。でももし法律が変わって同性婚が認められても私は結婚は希望しませ

		ん。
女性	30～49歳	私は産む気はないけど世の中の人々の権利を奪うことを辞めてほしい。障がい者同士で結婚し子どもを産んでいる人はたくさんいる。知人でも。(グループホームに入ってるかどうかはわからないけど)
女性	30～49歳	周りの人に相談しても反対されるなら共同できるグループホームを作った方がいいと思います。LGBTの人たちにも差別せずに2人が暮らしやすく、ストレスのないグループホームもあって良いと思います。あとは障がいに詳しい人たち、勉強がしっかり身についている人をスタッフに入れてほしいです。18歳の男性スタッフとか大学生はあんまり雇ってほしくないです。介護員が少ないとは言え、対応方法があるので知識ある人にスタッフとしてきてほしい。
女性	30～49歳	健常者の好きな人と暮らして、グループホームをでて一緒に暮らしたい。
女性	30～49歳	結婚願望はなくなりましたが、仲の良い友だちはほしいです。例えば映画とかドライブとか食事などの友だちがほしい。
女性	30～49歳	今の彼氏とうまくいかなくて不安です。
女性	30～49歳	好きな人が私と違う障がいのないの心配です。私は知的、好きな人は身体障がい者です。結婚したら、同じ職場で仕事はできるのでしょうか？例え結婚出来なくても、連絡交換はしてもいいのでしょうか？ラインやら、メールもしてみたいです。私の個人情報を好きな人の親は見たりするのでしょうか？私の周りには、反対するでしょうね・・・。
女性	30～49歳	結婚、出産、子育てすべて経験しています。小さい子どもを育てる場合は、逆にグループホームを出た方が育てやすいと思います。(他の入居者さんに泣き声で迷惑をかけてしまうため)
女性	30～49歳	グループホームに入居される方には若い年齢でご利用されることがあると思います。自己判断がどこまでできるかは課題かと思っています。でも、人生においてとても大切な時間だと思います。その経験があるのとならないのでは年齢を重ねた後、後悔しないためにも精神的協力や帰宅時間の柔軟性で協力してもらえるとありがたいかと思っています。実際私は信じてもらったこと、大切な経験であると応援していただいたことで、グループホームで過ごしている日々で恋愛経験において後悔はありません。
女性	30～49歳	若い頃は結婚願望ありましたが、今これからの生活を考えると大事なことができないところもあるので、全く結婚出産は無理と自分なりに思っています。
女性	30～49歳	私は、叶うなら再婚をして今の人ではない人と知り合って、週末婚がしたいです。1人暮らしをして、生活保護を使っていいと思います。今度に関する事です。ヘルパーさんも使いたい。私は過去に、生活保護を使ってました。相手と住んでいるときです。母親は、ガスはダメだけどIHはOKであります。今の人とは、20年のお付き合いしていて、仕事仲間として付き合いをしています。
女性	30～49歳	相手はいないけど、早く結婚したい。
女性	30～49歳	子供を育てることを反対されたのは、仕方がない。今は、あきらめている。
女性	30～49歳	なかなか会えない事が多い。
女性	30～49歳	そもそも、恋愛や結婚に関する事は、すべて一時の気の迷いだと思うので、そういうことは一切したくない。
女性	30～49歳	障がい者の意思を尊重して欲しいと思った。これからの時代は、障がい者が子供を産み育てていく事への理解と支援は必要だと感じた。新しい時代を切り拓く突破口にでもなれば、みんなの理解もあれば、少しは違ったものになれると思う。
女性	30～49歳	家庭を築くことが、小さな頃からの夢。双極性障害だけど、元気な赤ちゃんを産むことが出来るのかが、大きな課題です。
女性	30～49歳	自由に出会えて、会えたらいいと思っています。
女性	30～49歳	お付き合いしている方がいますけど、今、お互い体調が悪い状態で、薬の副作用で、どもってしまったり、物忘れが多くなってしまっていて、なかなか彼氏に自分の言いたい事や、伝えたい事が難しくなっていました。ですけど、お互いに前向きに交際を続けています。頑張ります。
女性	30～49歳	結婚をしたとしたら、本当に自分たちで上手くやっていけるかどうかの不安がすごくあります
女性	30～49歳	今でも縁があれば、結婚願望はある。
女性	30～49歳	そのときは、ホームのしょくいんさんにそうだんしています。
女性	30～49歳	・彼氏の病気、アトピー性皮膚炎、鼻炎、知的障害の特性などあることから、私も彼の支援を含めて、お手伝いさんや支援していただける方が必要になってくる場面が多くなっていく。

		<ul style="list-style-type: none"> ・もっとお互いを理解しあえるような環境を作りたい。 ・気持ちの良い関係を作っていきたい。
女性	30～49歳	職員さんや家族（特に両親）にちゃんと本人と向き合って本人の意思も尊重して話をし、本人の言っていることにも耳を傾けて欲しい。家族は特に「グループホームに入居しているから安心」と思って本人の言葉に耳を傾けない人も多い。「健常者」とか「障がい者」とか「壁」を作らないで欲しい
女性	30～49歳	けっこんに対してお金がかかるか。
女性	30～49歳	以前結婚していたことがあります。
女性	30～49歳	子どもができたとしてTVに出るように自分が育児ほうきするのが怖いと思う。
女性	30～49歳	彼氏はほしい（好きな人はいる）。
女性	30～49歳	他の人も私たちのためだと思ってあきらめてしまったりしているのは、本当にその人のことを考えてくれているのかな～あと思ったりしてしまう時もあるけど、本当にそれで良かな～あと思うこともあるので、みんなどう思っているのか知りたい。これからあきらめないでいてほしいと思います。たすけてくれる所があるのなら、手伝ってもらいながら育てて行ける社会にしてほしいです。
女性	30～49歳	好きな人とつきあったり けっこんしたいとおもったけど だれにそうだったらいいかわからなかった。
女性	30～49歳	私が子供をもうんだらときに支えんするところをふやしてほしい。
女性	30～49歳	ことそだてはどうするかたいへんのか。
女性	30～49歳	このままグループホームで仕事しながらみんなと笑える寮にしたい。仕事もこのまま続けていきたいし、グループホームでの生活も続けていきたいです。今のグループホームはたのしいので、このまま続けて生活したい。
女性	30～49歳	だれに相談してもむだたと思っています。
女性	30～49歳	グループホームから出て家でくらしたいのですがそうだんできずにいます。
女性	30～49歳	早く今のしせつをでて、かれしと一緒にくらしたい。
女性	30～49歳	グループホーム入居前に結婚、出産しており今現状グループホームには居るが、又、一人暮らし、もしくは家族と暮すと思います。たればの話ではございますが、もしもグループホームにいて恋愛などを自由にできないのであればそれは反対された事に対しての悲しみやくやしきは大きいものだと思います。
女性	30～49歳	自分に障害があると知る前から、あまり結婚や交際に関心がありません。でも、もしそうしたいと思うことがあったら、十分に相談できる環境があるとありがたいです。
女性	30～49歳	今考えてるのは支援を受けながら1人暮らしみたいな事ができるお部屋に住んでみたいです。友達の家とかに1人でいけるので遊びに行きたいです。異性の人とかとの出会いがないのでそういう出会いの場があるといいです。ウィンドウショッピングみたり本やしゅみの物を時間制限なしでみに行きたいです。
女性	30～49歳	自分達がしっかりしていれば生活もできていると思うお金のかんりや仕事もあるため結婚してもむりだと思いました。体調かんりもできていないので子供をつかってうんでもそだてるじしんがないです。としもかんけいしているためしょう来の事を考えると子供はかわいそうって思いました。パートナーの人の性格のズレもあるためむりと思いました。
女性	30～49歳	私は女の人がスキなのでいっしょにくらすなら女の人がよいと思っています。
女性	30～49歳	けっこんしたいのですがしんばいです。
女性	30～49歳	人間を愛せないかわりに 犬やねこなどがいたら、心がやすらぐのになと思った事が特につらい時とかに考えてしまう。
女性	30～49歳	かれしはいるが結こんはしない。
女性	30～49歳	結婚したいと思った人が現れたらと思うと自分で生活でが出来るのか不安に感じます。

<50～69 歳男性からのご意見> (全 180 件中 60 件抜粋)

性別	年齢	内容
男性	50～69歳	今はただ統合失調症という病気をよくしなければと言うことだけを考えて毎日生活しております。
男性	50～69歳	自分の身の上を考えると無理。
男性	50～69歳	この先年老いて老人ホームへ入ったとき、また誰も知人がいないことを考えると不安になる。そんなに遠い先のことではないので、それまでの間何か楽しい思い出を作っておきたいと思うが、なかなか同じ思いをしていて知人がほしいと思う人は見つからない。自分からアタックしていく元気がない。

男性	50～69歳	現在○歳、数えて○歳。結婚は望んでいません。それよりも病状改善によりグループホームを離れることになったときの仕事がどうなるかが心配です。
男性	50～69歳	精神患者同士なので互いを認め合って付き合っていきたいと思うし、彼女の支えになっていかなければと思っています。子どもはほしいですが、年齢が年齢なので諦めています。若ければ産んでもらって育てたいと思いますし、経済的に頑張ろうと思います。
男性	50～69歳	過去のことも当てはまると思ってたので、最初は「はい」と答えたけど、グループホームに入る数年前から相手は不要と考えるようになった。
男性	50～69歳	健康面での心配がある。
男性	50～69歳	グループホームに入っている以上は結婚する気持ちは全くありません。好きな彼女はいますが、私と一緒にいる気持ちはないと思います。
男性	50～69歳	3度結婚して子どももいますが、今は一人でグループホームにいます。女性はもうこりごりだと思っています。
男性	50～69歳	47歳で障がい者になり、障がいの前から10年以上付き合った方が、体を壊しなくなりました。付き合っているときは結婚は考えてませんでした。
男性	50～69歳	好きな人とどうしたら仲良くなれるかよくわからない。仲良くなって幸せにしたい。
男性	50～69歳	性的なモラルを持てば、性については自由だと思います。制限されることが多々あります。
男性	50～69歳	障がい者のことを考えて明るく平和に暮らせるようにしてほしい。
男性	50～69歳	こどくしだけしたくないです。
男性	50～69歳	老後が心配。
男性	50～69歳	精神障がい者なので、結婚や子どもを育てていくことをあきらめています。好きな人はいるけど、あくまで友達として接しています。
男性	50～69歳	結婚はしたい。金銭面の不安はある。
男性	50～69歳	好きになった人を守るために体をうんと鍛えておきたい。そして見聞を広くして、お話ししたい。熱く生きていきたいので趣味に打ち込んでいきたいなと思っている。
男性	50～69歳	いまのままでいいです。
男性	50～69歳	今は何も考えていない。
男性	50～69歳	今は相手がいませんが、縁があったら結婚したいです。
男性	50～69歳	結婚してたけど、妻を亡くしたため寂しくて彼女がほしい。
男性	50～69歳	本人の自由です
男性	50～69歳	結婚したい
男性	50～69歳	実家に帰省した時に、甥とふれ合う機会があり、子供が欲しいなと思った。
男性	50～69歳	グループホームの中でも回りの理解があれば、結婚生活をおくることができると思います。その中で他者に自分の好きな人が傷つけられなかとこの心配もありますが、それを事前に防ぐ話し合いをみんなでもってば乗り越えていけると思っています。あと言いたいことは自分にとっては一人で暮らしていた時も本当の自立に向けての支援が困難におもう場合もありますが、確かに感じとられ人間的成長も含め、受けとりかたで良いも悪いもきまるとおもっています。自分の思いは今はみなさんに感謝する気持ちがあります。
男性	50～69歳	相手からどう返事がくるか心配だ。
男性	50～69歳	一人暮らしに近いグループホームがあればいいなと思います。
男性	50～69歳	ガールフレンド（食事したり、お茶をする人）はほしい。
男性	50～69歳	今、単身者が交際し、生活を営むには環境が劣悪すぎる。結婚しても、子供が生まれても、子供を養育するにしても国、自治体が何の保障もしてくれない。少子化は少数権力者の選民志考の表れだと思う。
男性	50～69歳	ぼくはしょうらいどうせとか、けっこんとかはしたくないです。ぼくはずっとグループホームでくらしたいです。
男性	50～69歳	好きな人が居た事はあるが、亡くなってしまった。
男性	50～69歳	・わからない、何も無い、特にない、 ・交際や結婚は考えた事はあったが、反対されたのであきらめた。
男性	50～69歳	・交際や結婚については考えた事は無い。
男性	50～69歳	まだ独身なので早めにグループホームに出て結婚したいと思っています。そして彼女をさがして、福祉のめんきょとして、残りの人生にはげみたいです。
男性	50～69歳	病状が落ち着けばお付き合いしたい。
男性	50～69歳	1人ぐらしをしたい。
男性	50～69歳	当時つきあった人と、りっぱな家で暮らしたかった。

男性	50～69歳	自分の今の年齢で結婚はきびしい。
男性	50～69歳	結婚はできないと思っていたから誰にも相談していない。他の施設で利用者同士が結婚したのを聞いたことがある。うらやましく思ったことがある。今は結婚したいとは思わない。
男性	50～69歳	すきなひとがいます。そのひとに「すき」とこくはくしてます。あいても「すき」いつてくれている。まいにつがたのしいとおもう。しょくばであうのがうれしい。
男性	50～69歳	いま、すきなひとがいます。そのかたに、じぶんのきもちつたえています。なかよくできてます。
男性	50～69歳	良い人がいれば結婚したい。
男性	50～69歳	結婚したら、子どもを作る事が一般的ではあるが、もし、作ったら妻が子育てや仕事を両立するという負担をかけてしまうため、別に必要ない。今のままで十分です。
男性	50～69歳	俺は、もうとしなので、好きな女性はいるが、たっせいできないくてもしかたがないがゆめがかなっていっしょになれればいいと思う。
男性	50～69歳	デートしたい。
男性	50～69歳	結婚は反対です。一緒に部屋で暮らすのも反対です。でも逆に1人暮らしをするのには賛成だと思います。
男性	50～69歳	これからもずっと 長くつきあっていきたいです。
男性	50～69歳	ニュース見ておなじグループホームがあつてぼくたちもおなじことがあつたらどうするかはっきりほんりつできまてほしいです。
男性	50～69歳	・自分の家がほしいです。 ・結婚するためにお金をためたいです。
男性	50～69歳	結婚した時の住む所が心配。 仕事がしたいが、キツイ仕事は無利だ。今の仕事より高い給料の所で仕事がしたい。お菓子屋で仕事がしたい。
男性	50～69歳	彼女がほしい。
男性	50～69歳	結婚については、あまり思っていなかったけど、実際結婚するタイミングあつて結婚しました。(結婚するよりも離婚する事の方が難しい)。 子どももできて、少しは父親になる…というイメージもなかったが、少しできていたが、実際は流産となつてしまいました。今は子どもが生まれずに良かったと思つている。子どもが生まれていたらかわいそうだったと思う。
男性	50～69歳	親が亡くなった後、将来の事を考えて、結婚を思つていたのは若い時(実家暮らし)今は、GHでの生活をしているので、結婚を考える事はなくなった。
男性	50～69歳	縁があれば結婚したい。
男性	50～69歳	一生けん命やったら結婚できますよ。
男性	50～69歳	彼女は欲しいです。
男性	50～69歳	早く結婚出来ればなあと思う。
男性	50～69歳	いい人いるかな。
男性	50～69歳	家族がほしい。

<50～69歳女性からのご意見> (全113件中44件抜粋)

性別	年齢	内容
女性	50～69歳	今は自分の生活に満足しています!
女性	50～69歳	好きな人の顔だけでも、見たいです。
女性	50～69歳	グループホームは楽しいです。
女性	50～69歳	けっこうできるかどうかがしんぱいです。
女性	50～69歳	結婚して子どもも1人いますが、離婚してからはつきあいや友だちで男性はいましたが、もう一度結婚したいと考えたことはありません。
女性	50～69歳	子ども達が(3人)元気で生活していれば良い。
女性	50～69歳	話を聞いてくれたので、(その人が親切だったので)、良くしてくれたので。
女性	50～69歳	自分が子どもを育てられるかどうかものすごく心配であった。もう少し若いときに自分のように障がいのある人に子どもを産んでも大丈夫と教えてほしかった。それに子どもについては障害のあるなしに関係なく大変な問題と思う。
女性	50～69歳	私、結婚したい。でも、妹に反対されて。結婚したい、でも、男の人がしてくれない。
女性	50～69歳	これから自分ひとりで、こうやって生きていくことが大事です。
女性	50～69歳	今の成果では、会わない時とけんか、色々あります。
女性	50～69歳	私も今年〇歳になりますが、子どもがほしいと思ひました。今問題になっている

		優性保護制度はとても頭にきました。そんなことしてほしくないと思いました。
女性	50～69歳	今の時代、自分が若かった時より異性関係は自由になってるのでは？と思うけど、障がいを持ったり、収入が無かったりすると・・・一体どうするのかな？と思う。
女性	50～69歳	結婚願望はあるが、結婚したい相手はいない。 赤ちゃんは好きだが、反抗期の子供は嫌いなので、子供は欲しくない。
女性	50～69歳	別に本人の自由なので今はどうも思っていません。
女性	50～69歳	今の状態がいい、不安症が安定する（二人で行き来している）。
女性	50～69歳	結婚歴があります。（2度ありました）1回目は3か月、2回目は20年ほど。息子が2人います。うち1人は市内に住んでおり、お嫁さんとともにいろいろとお世話してもらっています。「結婚したい」と思えたのは2回目のときです。再婚はしたくありません。
女性	50～69歳	となりの部屋の男の人にキスさせてとか一緒にくらしなさいとか言われた。で困った。
女性	50～69歳	子育てに自信はなかったけど、一生懸命がんばりました。
女性	50～69歳	今まで一人で生きてきて、気ままに暮らしてきました。自分の好きな様にやってきましたが、年をとってきたら子供がいなくて寂しさを感じます。もし自分の子供がいたら、年老いた自分にとって子供は、とても頼りになるだろうにと、強く思ったりします。
女性	50～69歳	以前結婚していました 子供も2人います。 今は離婚しています 子供との付き合いもありません。
女性	50～69歳	以前結婚していて子供も2人います。 しかし今は交際や結婚をしたいと思う人もいません。 今後もそのような事は考えられません。
女性	50～69歳	ボーイフレンド、話し相手がいればいいな。
女性	50～69歳	〇〇〇〇さん。 ずっとずっと幸せで 好きです。 したい。手をつないで うれしいです。 けっこん おこらないでね。
女性	50～69歳	私は、現在〇さいです。若い時には何も知らずに男性と付き合いはじめて2回自まつみすいをしました。相談したくても、男性からごういんにセックス、料理、そうじ、同せい生活をさせられていました。 イヤならイヤとことわればいと思います。私は20代の頃にしんせきのおじさんにレイプされていて、男性がこわいです。 今でも信じきれないです。でも、アイドルグループのファンになってから、男性に対しての目が変わってきました。自分に対するまわりの言葉もしんしに向きあえている様に感じます。あまり一般人の男性とは付き合いたくないです。
女性	50～69歳	一回離婚してるから、それを理解してくれる人。 自分の障がいを理解してくれる人、家族が喜んでくれる人が居ればなあと思う。
女性	50～69歳	仲よく生活していきたい。
女性	50～69歳	若い頃は思った事もあったけど、今は思わない。自分の健康（眼）の事が心配。
女性	50～69歳	子どもは育てるのは、無理ではないかと、お母さんに言われた。産んでみたと思ったけど、無理だなと自分でも思った。
女性	50～69歳	父母に結婚は出来ないと言われて、そうなんだと思った。
女性	50～69歳	私の住むグループホームでは、人権侵害のような事はありません。 良い施設が、多くつくられる事を望みます。
女性	50～69歳	結婚していて夫もいたが病気で離婚した。娘が1人いて今も来てくれるからうれしい。
女性	50～69歳	この先結婚は考えないと思う。
女性	50～69歳	仕事がいそがしくて好きな人ができなかった。
女性	50～69歳	子供が欲しい時があったが母に「あなたは子供産めないんだからだめだよ」と言われた。
女性	50～69歳	今も誰か良い人がいたら結婚したいと思う。
女性	50～69歳	好きな人がいても、2人をひきさこうとする人がいたり、いじわるをしたりする人が、いるのでぎゃくに自分がおなじようにされたら、いやな気持ちになるのに平気でする人がいる。グループホームなどにいたら、結婚や、つきあう人が、たくさん出来ればいいけど。色々ともずかしいと思う。
女性	50～69歳	男性と暮らすのは嫌です。
女性	50～69歳	結婚しています。結婚して良かったと思う時、結婚しなければよかった…。と思

		う時がある。年齢を重ねていろいろ助けてくれる様になった。
女性	50～69歳	いまのままで良い。
女性	50～69歳	恋愛の事等を相談できる人が今まであまりいませんでした。誰に相談していいのか判断ができませんでした。これからは相談出来る人がいれば必要に応じて相談したいと思います。
女性	50～69歳	今も好きな人が、いるので、その人と一緒に住みたいです。
女性	50～69歳	普通に式をあげ子供が生まれた。子育てが終わってから症状が悪くなった。
女性	50～69歳	同棲して妊娠されたらどうしよう。無理やりされたらこわい。

<50～69歳その他の性からのご意見> (全2件)

性別	年齢	内容
その他	50～69歳	彼女と一緒に交際、結婚をしてみたい。スマホの準備をしてほしい。プリクラの写真を撮りたい。
その他	50～69歳	障がいがいなければ、結婚も子どもも考えたけど。

<70歳～男性からのご意見> (全45件中19件抜粋)

性別	年齢	内容
男性	70歳～	好きな人とちょうど良い距離、関係でいたいです。
男性	70歳～	昔はそういう気持ちがあったけど、GH生活がはじまってからは、そういう気持ちがなくなった。
男性	70歳～	家で暮らしていたときに、好きな人や結婚したい人、子供が欲しいなと思ったことはありますが、誰にも相談することが出来ませんでした。
男性	70歳～	家族の子供を見て、子供が欲しいと思った事はある。
男性	70歳～	彼女はいました。おつき合いしていました。
男性	70歳～	家族等の子供を見て、欲しいと思ったことはあります。
男性	70歳～	今とおりに生活していきたい。
男性	70歳～	したかったけど相手見つからなかった。
男性	70歳～	子どもたちが成長して自分たちでやっていけるかが心配だった。
男性	70歳～	僕はもう結婚できないから特にない。過去に結婚してたからそれで終わりだね。
男性	70歳～	仕手がみつかったら結婚したい。
男性	70歳～	若い頃考えていた事、今はもう高齢になってきているので結婚とかは考えていない。健康1番。
男性	70歳～	・特にないな。 ・交際や結婚については考えた事は無い。
男性	70歳～	・仕事が心配 いつまで働けるか、何才まで働けるか？ ・買い物に行けるか心配。 ・結婚や交際については特に希望や話しは無かった。
男性	70歳～	ここでのんびり生活したい。
男性	70歳～	・今となっては ありません。 ・いい人がいたら紹介して下さい。
男性	70歳～	・別のホームで暮らしていた彼女は亡ってしまった。 ・いい人がいたら紹介して下さい。
男性	70歳～	いまのままでいます。
男性	70歳～	結婚してよかった。幸せだ。
男性	70歳～	合う時に本人と話しあって、いきたいと思います。ただし時間がかかります。

<70歳～女性からのご意見> (全17件中9件抜粋)

性別	年齢	内容
女性	70歳～	結婚しなくて良かったなど今思います。一人で生きるのが精一杯です。自由でいいです。今20歳私より若い女の子とお友だちですが、その子と話していると男性がほしいと思わないし、今幸せです。その子が、子ども産んだことも育てたこともないので、自分の妹か、自分の子どもか、自分が母になったような気持ちでいます。
女性	70歳～	結婚はしたくない。男の人と一緒になれば、好きな事できないから…
女性	70歳～	グループホームでみんなと仲良くくらしたい。
女性	70歳～	自分で結婚してもダメだなあ～と思っていた。
女性	70歳～	仕方ないと思いきらめた。
女性	70歳～	難しいと小さい時から思っていた。

女性	70歳～	長くグループホームにいたいです
女性	70歳～	入居する前に結婚していた。子供も1人いる。
女性	70歳～	結婚していました。だんなさんは先に亡くなってしまいましたが、2人で楽しかったです。

<70歳～その他の性からのご意見> (全1件)

性別	年齢	内容
その他	70歳～	結婚や交際については特に希望や話しは無かった。

<年齢等の記載がない方からのご意見> (全14件中3件抜粋)

性別	年齢	内容
男性		彼女ほしい！！それと〇〇で自立する。
		結婚というものじたい、よくわからない。
		一緒にグループホームで生活出来るのか疑問に思っている。

○：個人情報特定防止などのため一部表現を修正したもの

※：記載内容を読み取ることができなかったもの